



## 【目次】

～2023 年度入学者 教育課程表・・・ 1

2024 年～度入学者 教育課程表・・・ 2

A101	心理学	3
A102	情報科学	4
A104	国語表現法	5
A105	実践コミュニケーション	6
A106	物理学	7
A107	生物学	8
A108	統計学	9
A109	英会話	10、11
A110	保健体育(実技)	12、13
A201	解剖学 I	14
A202	解剖学 II	15
A203	生理学	16、17
A204	人間発達学	18
A205	基礎運動学	19、20
A206	運動学実習	21
A221	リハビリテーション概論	22
A301	理学療法概論	23
A303	基礎運動療法学 I	24
A306	基礎評価学	25
P106	社会保障学	26
P112	英会話	27、28
P114	保健体育(講義)	29
P203	体表解剖学	30、31
P208	関節運動学	32、33
P209	運動生理学	34
P210	病理学	35
P211	臨床心理学	36
P212	神経内科学	37、38
P213	一般臨床医学	39、40
P215	整形外科学	41、42
P218	リハビリテーション医学	43
P220	精神医学	44、45
P221	救急処置法	46
P222	栄養学	47
P223	臨床薬理学	48
P224	画像診断学	49
P302	臨床運動学	50
P303	基礎運動療法学	51、52
P304	チーム医療概論	53
P307	理学療法評価学 I	54
P308	理学療法評価学 II	55
P310	中枢神経系治療学	56、57
P311	運動器疾患治療学	58、59
P312	脊髄損傷治療学	60
P313	小児疾患治療学	61
P314	内部障害系治療学	62、63
P317	基礎物理療法学	64
P318	実践物理療法学	65
P320	ADL 技術論	66
P321	理学療法技術論	67
P322	神経筋疾患治療学	68
P323	スポーツ・健康増進理学療法	69
P325	老年期理学療法	70
P327	地域理学療法学	71
P328	生活環境学	72
P331	臨床実習教育 I	73
P332	臨床実習教育 II	74
P341	姿勢と動作	75
P342	理学療法管理学	76
P343	義肢・装具学	77

## 教育課程表 (1年生)

指定分野	指定 単位	科目 コード	授業科目	担当教員	講義形式	ページ 番号	履修 単位	履修 時間	開講期および時間数								合計	備考	
									1年		2年		3年		4年				
									前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
基礎分野	科学的思考の基礎 人間の生活 社会の理解	14 単位	A101	心理学	河原 剛	講義	3	2	30	30							30		
			A102	情報科学	榎 重治	講義	4	2	30	30								30	
			A103	社会と生活		講義		1	15								15	15	
			A104	国語表現法	平岡 一志	講義	5	2	30	30								30	
			A105	実践コミュニケーション	吉川 李奈	講義	6	1	15	15								15	
			A106	物理学	岩田 隆士	講義	7	1	15	15								15	
			A107	生物学	松尾 茂	講義	8	2	30	30								30	
			A108	統計学	康 凱翔	講義	9	2	30	30								30	
			A109	英会話	Michael Davenport	講義	10,11	4	60	30	30							60	
			A110	保健体育(実技)	山口 浩二	実習	12,13	1	45		45							45	
専門基礎科目	人体の構造と機能 および心身の発達	12 単位	A201	解剖学Ⅰ	平岡 一志	講義	14	4	60	60							60		
			A202	解剖学Ⅱ	平岡 一志	講義	15	4	60	60							60		
			A203	生理学	藤原 冬美	講義	16,17	4	60	30	30							60	
			A204	人間発達学	廣江 健人	講義	18	2	30	30								30	
			A205	基礎運動学	吉川 李奈	講義	19,20	4	60	30	30							60	
			A206	運動学実習	太田 光洋	実習	21	1	45		45							45	
			A207	応用運動学		演習		2	60			60						60	
			A208	臨床運動学		演習		2	60				60					60	
			A209	運動生理学		講義		2	30				30					30	
	疾病の障害の成り立ち	14 単位	A210	病理学		講義		2	30			30					30		
			A211	臨床心理学		講義		2	30				30				30		
			A212	神経内科学		講義		4	60			30	30				60		
			A213	一般臨床医学		講義		4	60			30	30				60		
			A214	整形外科学		講義		4	60			30	30				60		
			A215	精神医学		講義		4	60			30	30				60		
			A216	救急医学概論		講義		1	15				15				15		
			A217	栄養学		講義		2	30			30					30		
			A218	薬理学概論		講義		1	15							15	15		
			A219	画像診断学		講義		1	15							15	15		
	理学療法管理	4 単位	A220	リハビリテーション医学		講義		2	30					30			30		
			A221	リハビリテーション概論	オムニバス	講義	22	2	30		30						30	実務経験	
			A222	チーム医療概論		講義		1	15						15		15		
	専門分野	基礎理学 理学療法	6 単位	A301	理学療法概論	榎 重治	講義	23	1	15	15						15	実務経験	
				A302	理学療法研究法		講義		1	15					15		15		
				A303	基礎運動療法学Ⅰ	榎 重治	演習	24	2	60		60					60	実務経験	
				A304	基礎運動療法学Ⅱ		演習		2	60			60				60		
		理学療法治療学	20 単位	A305	理学療法管理学		講義		2	30							30	30	
				A306	基礎評価学	吉川 李奈	演習	25	4	120		120						120	実務経験
				A307	理学療法評価学Ⅰ		演習		4	120			120					120	
A308				理学療法評価学Ⅱ		演習		4	120				120				120		
A309				理学療法評価学Ⅲ		演習		4	120					120			120		
A310				運動器疾患治療学		講義		4	60			30	30				60		
A311				中枢神経系治療学Ⅰ		講義		4	60			30	30				60		
A312				中枢神経系治療学Ⅱ		講義		2	30					30			30		
A313				小児疾患治療学		講義		2	30				30				30		
A314				内部障害系治療学		講義		4	60					30	30		60		
A315				義肢・装具学		講義		2	30					30			30		
A316				物理療法学		演習		4	120					120			120		
A317				ADL技術論		演習		2	60					60			60		
A318				理学療法技術論		演習		2	60							60	60		
A319				健康増進理学療法学		講義		2	30					30			30		
A320	応用理学療法学Ⅰ		演習		2	60					60			60					
A321	応用理学療法学Ⅱ		演習		2	60						60		60					
地域理学療法	3 単位	A322	地域理学療法学		講義		2	30				30			30				
		A323	生活環境学		講義		2	30					30		30				
		A324	臨床実習教育Ⅰ		演習		2	60			60				60				
臨床実習	20 単位	A325	臨床実習教育Ⅱ		講義		1	15				15			15				
		A326	臨床見学実習		実習		1	45				45			45				
		A327	臨床基礎実習		実習		6	270					270		270				
		A328	臨床総合実習Ⅰ		実習		8	360						360	360				
		A329	臨床総合実習Ⅱ		実習		8	360							360	360			
特別活動								0	72	24		24		24		72			
国家試験対策								0	30						30	30			
合計								159	3705	345	480	540	510	555	450	720	105	3705	

## 教育課程表（2.3.4年生）

指定分野	指定単位	科目コード	授業科目	担当教員	講義形式	ページ数	単位数	開講期および時間数								合計	備考		
								1年		2年		3年		4年					
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
基礎分野	科学的思考の基盤 社会の理解 人間と生	14 単位	P101	心理学		講義		2	30							30			
			P102	情報科学Ⅰ		講義・実習		2	30							30			
			P103	情報科学Ⅱ		講義・実習		2		30						30			
			P104	国語表現法		講義		2	30							30			
			P105	実践コミュニケーション		講義		2	30							30			
			P108	物理学		講義		1	15							15			
			P109	生物学		講義		2	30							30			
			P110	統計学		講義		2		30						30			
			P111	英語Ⅰ		講義		4	30	30						60			
			P112	英語Ⅱ（英会話）	Michael Davenport	講義	27,28	4			30	30				60			
			P113	保健体育(実技)		実習		1		45						45			
			P114	保健体育(講義)	山口 浩二	講義	29	1				15				15			
			専門基礎科目	および心身の発達	12 単位	P201	解剖学Ⅰ		講義		4	60						60	
						P202	解剖学Ⅱ		講義		4		60					60	
P203	体表解剖学	岩田 隆士				講義	30,31	4			30	30				60			
P204	生理学					講義		4	30	30						60			
P205	生理学実習					実習		2		60						60			
P206	人間発達学					講義		2		30						30			
P207	基礎運動学					講義		4	30	30						60			
P208	関節運動学	岩田 隆士				講義	32,33	4			30	30				60			
P209	運動生理学	廣江 健人				講義	34	2			30					30			
疾病の障害の成り立ち	14 単位	P210		病理学	達家 雅明	講義	35	2			30				30	実務経験			
		P211		臨床心理学	河原 剛	講義	36	2			30				30	実務経験			
		P212		神経内科学	伊藤 祥史	講義	37,38	4			30	30			60	実務経験			
		P213		一般臨床医学	柘植 雅貴	講義	39,40	4			30	30			60	実務経験			
		P215		整形外科学	村上 恒二	講義	41,42	4			30	30			60	実務経験			
		P220		精神医学	藤田 康孝	講義	44,45	4			30	30			60	実務経験			
		P221		救急処置法	福井 英人	講義	46	1			15				15	実務経験			
		P222		栄養学	太田 光洋	講義	47	1			15				15	実務経験			
		P223		臨床薬理学	岡崎 修司	講義	48	1					15		15	実務経験			
		P224		画像診断学	横町 和志	講義	49	1					15		15	実務経験			
理学療法管理 学	4 単位	P218		リハビリテーション医学	杉原 勝宣	講義	43	2			30				30	実務経験			
		P219		リハビリテーション概論		講義		1	15						15				
		P106		社会保障学	古澤 宰治	講義	26	1						15	15				
専門分野	基礎理学療法	6 単位		P301	理学療法概論		講義		1	15						15			
				P302	臨床運動学	岩田 隆士	講義・実技	50	2				30			30	実務経験		
			P340	運動学実習		実習		1		30					30				
			P341	姿勢と動作	岩田 隆士	講義・演習	75	2				30			30	実務経験			
			P303	基礎運動療法学	榎 重治	講義	51,52	4			30	30			60	実務経験			
			P304	チーム医療概論	平岡 一志	講義・演習	53	1					15		15	実務経験			
	理学療法管理 学	2 単位	P342	理学療法管理学	オムニバス	講義	76	2						30	30	実務経験			
	理学療法 評価	6 単位	P306	基礎評価学		講義・実技		4		60					60				
			P307	理学療法評価学Ⅰ	廣江 健人	講義・実技	54	4			60				60	実務経験			
			P308	理学療法評価学Ⅱ	廣江 健人	講義・実技	55	4				60			60	実務経験			
	理学療法治療学	20 単位	P310	中枢神経系治療学	平岡 一志	講義・実技	56,57	4			30	30			60	実務経験			
			P311	運動器疾患治療学	太田 光洋	講義	58,59	4			30	30			60	実務経験			
			P312	脊髄損傷治療学	廣江 健人	講義	60	2			30				30	実務経験			
			P313	小児疾患治療学	廣江 健人	講義	61	2				30			30	実務経験			
			P314	内部障害系治療学	廣江 健人	講義	62,63	4				30	30		60	実務経験			
			P343	義肢・装具学	榎 重治	講義	77	2				30			30	実務経験			
			P317	基礎物理療法学	太田 光洋	講義	64	2				30			30	実務経験			
			P318	実践物理療法学	太田 光洋	実習	65	1				30			30	実務経験			
			P320	ADL技術論	平岡 一志	講義・演習	66	2				30			30	実務経験			
			P321	理学療法技術論	芳谷 伸二	講義・演習	67	2						30	30	実務経験			
			P322	神経筋疾患治療学	伊藤 祥史	講義	68	2				30			30	実務経験			
			P323	スポーツ・健康増進理学療法	吉川 李奈	講義	69	2				30			30	実務経験			
			P325	老年期理学療法	藤原 冬美	講義	70	2				30			30	実務経験			
			地域 理学療法	3 単位	P327	地域理学療法学	岩田 隆士	講義	71	2			30				30	実務経験	
P328	生活環境学	岩田 隆士			講義	72	2				30			30	実務経験				
臨床 実習	20 単位	P331	臨床実習教育Ⅰ	岩田 隆士	講義・演習	73	2			30				30	実務経験				
		P332	臨床実習教育Ⅱ	廣江 健人	講義・演習	74	2				30			30	実務経験				
			臨床見学実習	実習指導者	実習		1				45				45				
			臨床基礎実習	実習指導者	実習		8					360			360				
			臨床総合実習Ⅰ・Ⅱ		実習		16						720		720				
特別活動									0	24		24		24		72			
国家試験対策									0						30	30			
合計									172	345	435	480	540	360	465	720	75	3420	

授業科目	心理学			講義形式	講義	科目コード	A101
担当教員	河原 剛					科目区分	必修
開講時期	1年・前期	曜日・時限	水・1	授業回数	15回	単位数	2単位
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
多くの実践領域で用いられている基本的な心理学領域の知見を、最新の研究成果とともに概説する。心理検査や心理学実験のデモンストレーションなどの体験的な内容にも取り組み、実感を伴う知識を提供する。							
この授業の到達目標							
①科学的な知見に基づいた、心理学の基礎的な知識を習得する ②日常生活で起きる現象を心理学的に説明できる							
授業スケジュール							
回数	内容					場所	担当
1	オリエンテーション(心理学とは?)					HR教室	河原
2	知覚心理学					HR教室	河原
3	学習心理学(1)					HR教室	河原
4	学習心理学(2)					HR教室	河原
5	進化心理学					HR教室	河原
6	神経心理学					HR教室	河原
7	個人差心理学					HR教室	河原
8	認知心理学(1)					HR教室	河原
9	認知心理学(2)					HR教室	河原
10	発達心理学(1)					HR教室	河原
11	発達心理学(2)					HR教室	河原
12	感情心理学					HR教室	河原
13	社会心理学					HR教室	河原
14	臨床心理学(1)					HR教室	河原
15	臨床心理学(2)					HR教室	河原
成績評価方法							
期末試験:60%。出席:40% 出席が3分の2を満たさない場合、不可。							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
履修上の注意点							
講義で配布する資料や文章等をインターネット上に公開することを禁止する。							
教員よりメッセージ							
予習は不要。授業中は教員の言葉を一字一句メモする必要はなく、話を聞くことや内容について考えを深めることに集中する。日常生活の中で、講義中に学んだことを他者と議論することが望ましい。 オフィスアワー:水曜日12時~14時 連絡先:t26a_ur02ki@hotmail.com							

授業科目	情報科学			講義形式	講義	科目コード	A102
担当教員	榎 重治					科目区分	必修
開講時期	1年・前期	曜日・時限	金・1	授業回数	15回	単位数	2単位
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
ネット社会において安全に活用するのに必要な知識、情報モラル、セキュリティを身に付けることを目的とする							
この授業の到達目標							
1. ネット社会における必要な知識を理解する。 2. 情報モラル、セキュリティを身に付ける。							
授業スケジュール							
回数	内容					場所	担当
1	オリエンテーション					HR教室	榎
2	学内でのクラウドデータ、掲示板、メールの使い方					HR教室	榎
3	ネット社会でのモラルとマナー					HR教室	榎
4	ネット社会でのモラルとマナー					HR教室	榎
5	ネット社会でのモラルとマナー					HR教室	榎
6	ネット社会でのモラルとマナー社会での生活					HR教室	榎
7	ネット社会でのモラルとマナー社会での生活					HR教室	榎
8	ネット社会でのモラルとマナー社会での生活					HR教室	榎
9	個人情報と知的財産					HR教室	榎
10	個人情報と知的財産					HR教室	榎
11	個人情報と知的財産					HR教室	榎
12	情報サービスとセキュリティ					HR教室	榎
13	情報サービスとセキュリティ					HR教室	榎
14	情報サービスとセキュリティ					HR教室	榎
15	まとめ					HR教室	榎
成績評価方法							
期末試験 40% 課題提出 30% 出席状況 30%							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
2024 事例でわかる情報モラル&セキュリティ				実教出版		9784407363661	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
履修上の注意点							
出席日数の足りない学生は期末試験の受験を認めないので注意してください。 オンデマンド受講を指示された際には、期限までに動画を視聴し課題を提出したものについて出席とします。							
教員よりメッセージ							
ネット社会における必要な知識としての情報モラルやセキュリティを身に付けていきましょう							

授業科目	国語表現法			講義形式	講義	科目コード	A104
担当教員	平岡一志					科目区分	必修
開講時期	1年・前期	曜日・時限	水・2	授業回数	15回	単位数	2単位
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
この授業では理学療法士を生業とするときに必ず必要となってくる、「聞く」「話す」「読む」「書く」についても一度よく考える機会になるよう進めていきます。							
この授業の到達目標							
①これから当校で学んでいくための基本的な聞き方、話し方、読み方、書き方ができる。 ②相手の話しを聞きながら、自分の考えを述べることができる。 ③文献を読んで自分なりにまとめ、理解することができる。④医療用語に慣れることができる。							
授業スケジュール							
回数	内容					場所	担当
1	オリエンテーション・「聞く」1					HR教室	平岡
2	「聞く」2					HR教室	平岡
3	「聞く」3					HR教室	平岡
4	「話す」1					HR教室	平岡
5	「話す」2					HR教室	平岡
6	「書く」1					HR教室	平岡
7	「書く」2					HR教室	平岡
8	「読む」1					HR教室	平岡
9	「読む」2					HR教室	平岡
10	「読んで・調べて・考える」1					HR教室	平岡
11	「読んで・調べて・考える」2					HR教室	平岡
12	「読んで・調べて・考える」3					HR教室	平岡
13	「読んで・調べて・考える」4					HR教室	平岡
14	「討論する」1					HR教室	平岡
15	「討論する」2					HR教室	平岡
成績評価方法							
小テスト20% 提出物50% 期末テスト30%							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
なし							
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
人はことばをどう学ぶかー国語教師のための言語科学入門ー		菅井 三実		くろしお出版		978-4874246658	
大人のための国語ゼミ		野矢 茂樹		山川出版社		978-4480816801	
履修上の注意点							
普段から、ニュースや新聞などに触れる習慣を身に着けましょう。また、本を読むくせをつけましょう。毎回、医学用語の漢字テストを行います。							
教員よりメッセージ							
理学療法士は「聞い」たり、「見た」り「調べ」たりして得たさまざまな情報を「まとめ」て知識や技術とし、患者さんに現状やこれからの方針を「話し」て治療をおこないます。さらに、それを「記録」したり、仕事内容をさまざまな人と「話し合う」ことも大事な仕事です。つまり、国語の能力は理学療法士の仕事をするうえで非常に大切な能力といえます。さらに、実は国語の能力が向上すると、普段の勉強が楽しくなります。							

授業科目	実践コミュニケーション			講義形式	講義	科目コード	A105
担当教員	吉川 李奈					科目区分	必修
開講時期	1年・前期	曜日・時限	木・3	授業回数	8回	単位数	1単位
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
<p>「話すこと」だけがコミュニケーションではありません。自分が相手に与える印象はどのようなものかについても気付き、実践できるよう講義・演習を行っていきます。これから先の人生に役立つコミュニケーションスキルを身に付けていきましょう。</p>							
この授業の到達目標							
<p>人間関係を構築できるようになる  他人の気持ちや思いに目を向け、読み取れるようになる。  社会人としてのマナーを身に付ける。</p>							
授業スケジュール							
回数	内容					場所	担当
1	オリエンテーション					HR教室	吉川
2	アイスブレイク					HR教室	吉川
3	自分を理解する					HR教室	吉川
4	チームに貢献するとは？					HR教室	吉川
5	チームに貢献するとは？					HR教室	吉川
6	社会人としてのマナー					HR教室	吉川
7	社会人としてのマナー					HR教室	吉川
8	暗黙のルールについて					HR教室	吉川
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
成績評価方法							
授業態度及び演習評価40% 課題(レポート)60%							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
履修上の注意点							
<p>出席日数の足りない学生は期末試験の受験を認めないので注意してください。また、オンデマンド受講を指示された際には、期限までに動画を視聴し課題を提出した者について出席とします。</p>							
教員よりメッセージ							
<p>コミュニケーション能力は、臨床でも、クラス内でも求められる重要なスキルです。積極的に参加してください。</p>							





授業科目	生物学			講義形式	講義	科目コード	A107
担当教員	松尾 茂					科目区分	必修
開講時期	1年・前期	曜日・時限	月・2	授業回数	15回	単位数	2単位
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
ヒトを含む生命現象について基礎的内容を学ぶことで、生命のすばらしさを理解するとともに、本学での専門領域の学習の基礎とする。							
この授業の到達目標							
○細胞の構造と機能について説明することができる ○代謝のしくみについて説明することができる ○細胞分裂、発生、遺伝のしくみについて説明することができる ○恒常性のしくみについて説明することができる ○刺激の受容と行動について説明することができる							
授業スケジュール							
回数	内容				場所	担当	
1	生物学を学ぶにあたって				HR教室	松尾	
2	細胞の構造と働き				HR教室	松尾	
3	細胞膜の働き				HR教室	松尾	
4	生体内の化学反応				HR教室	松尾	
5	同化作用				HR教室	松尾	
6	異化作用1				HR教室	松尾	
7	異化作用2				HR教室	松尾	
8	生殖と発生1				HR教室	松尾	
9	生殖と発生2				HR教室	松尾	
10	遺伝情報の伝達と発現のしくみ1				HR教室	松尾	
11	遺伝情報の伝達と発現のしくみ2				HR教室	松尾	
12	個体の調整1				HR教室	松尾	
13	個体の調整2				HR教室	松尾	
14	刺激の受容と行動1				HR教室	松尾	
15	刺激の受容と行動2				HR教室	松尾	
成績評価方法							
期末試験60% 小テスト・レポート20% 授業内ワークシート20% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社	ISBNコード		
生物学 系統看護学講座基礎第10版		桑澤清明		医学書院	9784260031899		
参考書							
書名		著者		出版社	ISBNコード		
履修上の注意点							
授業中は私語をせず、眠らないようにすること。講義をよく聞き、大切な事項をメモしておくこと。携帯電話など授業に必要なものはカバンに納めておくこと。							
教員よりメッセージ							
次回の授業範囲を予習すること。配布資料をよく読むこと。授業ごとに学習した事項を簡潔にまとめておくこと。質問は歓迎します。昼休みに講師室で行います。							

授業科目	統計学			講義形式	講義	科目コード	A108
担当教員	康 凱翔					科目区分	必修
開講時期	1年・前期	曜日・時限	水・3	授業回数	15回	単位数	2単位
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
保健統計に関する基礎知識、必要性などについて学び、論文を読解する力、統計学の考え方を身につけることを目的とする。							
この授業の到達目標							
①統計学が保健学分野で、必要となる背景を歴史的に理解する。 ②保健学分野の調査研究や実践で活用できるよう、統計学の基礎知識を学び、習得する。 ③社会全体における統計学の活用事例や応用事例を知り、保健学分野における応用可能性について考察する。							
授業スケジュール							
回数	内容					場所	担当
1	統計調査の目的、基礎(事象の記述、目的)					HR教室	康
2	調査の設計、統計を用いる意味					HR教室	康
3	統計的説明、統計的検定、尺度の作成					HR教室	康
4	数学的基礎知識(有効桁数、対数、無理数、関数、二次元プロット)					HR教室	康
5	保健統計の必要性、尺度と度数分布(度数分布表、度数分布図)					HR教室	康
6	代表値(平均値、中央値、四分位数、百分位数、最頻値)					HR教室	康
7	散布度(標準偏差、範囲、四分位偏差、平均偏差、変異係数)					HR教室	康
8	クロス表の作成と分析、カイ二乗検定					HR教室	康
9	相関と回帰(相関係数、回帰直線)					HR教室	康
10	統計読解					HR教室	康
11	確率分布(正規分布とその性質、カイ二乗分布、t分布、F分布)					HR教室	康
12	確率分布(一様分布、二項分布、指数分布、ポアソン分布)					HR教室	康
13	母集団統計値の推定(母集団と標本、母平均の推定)					HR教室	康
14	2つの平均の差を検定する					HR教室	康
15	レポートの作成					HR教室	康
成績評価方法							
授業内テスト40% 課題60% (配分は授業内で決めます)。課題提出期限は、課題提示後、1週間後の17時まで。ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
やさしい保健統計学		縣 俊彦		南江堂		978-4-524-24124-8	
履修上の注意点							
講義中に計算や調べ物が出来るように、スマホを充電した状態で持ってきてください。(もしくは電卓)。							
教員よりメッセージ							
分からないことや、不明な点、急な連絡が必要な時は以下までご連絡ください。オフィスアワーの時間指定なし。 d212304[at]hiroshima-u.ac.jp [at]を@に置き換えてください。							

授業科目	英会話			講義形式	講義	科目コード	A109
担当教員	Michael Davenport					科目区分	必修
開講時期	1年・前期	曜日・時限	火・1	授業回数	15回	単位数	4単位(通年)
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
This class will help students improve their English conversation skills.							
この授業の到達目標							
Clear training in how to speak English like a native speaker will be given. Students will understand the differences between Japanese and Western cultural speaking styles in order to communicate more effectively. Students will also spend much time in class learning vocabulary and speaking with classmates about everyday life topics, such as: getting acquainted, daily life routines, hometowns, and travel. By the end of the course, if students work hard, they will be able to speak English more fluently, accurately, and with more complexity than they could at the beginning of the year.							
授業スケジュール							
回数	内容					場所	担当
1	Introduction to the course ・ Textbook: Let's Get Started unit					HR教室	Michael
2	Review: 1st time greetings ・ Unit 1: Getting Acquainted (Part 1)					HR教室	Michael
3	Review: Unit 1, part 1 ・ Unit 1: Getting Acquainted (Part 2)					HR教室	Michael
4	Review: Unit 1, parts 1&2 ・ Unit 1: Getting Acquainted (Part 3)					HR教室	Michael
5	Unit 1 vocabulary ・ Unit 2: Daily Life (Part 1)					HR教室	Michael
6	Review: Unit 2, part 1 ・ Unit 2: Daily Life (Part 2)					HR教室	Michael
7	Review: Unit 2, parts 1&2 ・ Unit 2: Daily Life (Part 3)					HR教室	Michael
8	Mid-term exam					HR教室	Michael
9	Unit 3: Hometown (Part 1)					HR教室	Michael
10	Review: Unit 3, part 1 ・ Unit 3: Hometown (Part 2)					HR教室	Michael
11	Review: Unit 3, parts 1&2 ・ Unit 3: Hometown (Part 3)					HR教室	Michael
12	Unit 4: Travel (Part 1)					HR教室	Michael
13	Review: Unit 4, part 1 ・ Unit 4: Travel (Part 2)					HR教室	Michael
14	Review: Unit 4, parts 1&2 ・ Unit 4: Travel (Part 3)					HR教室	Michael
15	Review Units 1-4					HR教室	Michael
成績評価方法							
Final exam 50% Participation 30% Mid-term exam 20%							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
Conversations in Class, 3rd Edition		Jerry Talandis Jr. and Bruno Vannieu		Alma Publishing		978-4-905343-12-7	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
履修上の注意点							
Let's enjoy studying English.(楽しんで下さい) When you enjoy, you will learn more.(楽しく学ぶ時、よりたくさんのことを学べます)							
教員よりメッセージ							
Let's enjoy English!!(一緒に英語を楽しみましょう) Looking forward to seeing you!!(みんなに会えるのを楽しみにしています)							

授業科目	英会話			講義形式	講義	科目コード	A109
担当教員	Michael Davenport					科目区分	必修
開講時期	1年・後期	曜日・時限	火・2	授業回数	15回	単位数	4単位(通年)
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
This class will help students improve their English conversation skills.							
この授業の到達目標							
Clear training in how to speak English like a native speaker will be given. Students will understand the differences between Japanese and Western cultural speaking styles in order to communicate more effectively. Students will also spend much time in class learning vocabulary and speaking with classmates about everyday life topics, such as: getting acquainted, daily life routines, hometowns, and travel. By the end of the course, if students work hard, they will be able to speak English more fluently, accurately, and with more complexity than they could at the beginning of the year.							
授業スケジュール							
回数	内容					場所	担当
1	Introduction to the course ・ Review: Units 1-4					HR教室	Michael
2	Unit 5: Free Time (Part 1)					HR教室	Michael
3	Review: Unit 5, part 1 ・ Unit 5: Free Time (Part 2)					HR教室	Michael
4	Review: Unit 5, parts 1 & 2 ・ Unit 5: Free Time (Part 3)					HR教室	Michael
5	Unit 5 vocabulary ・ Unit 6: Entertainment (Part 1)					HR教室	Michael
6	Review: Unit 6, part 1 ・ Unit 6: Entertainment (Part 2)					HR教室	Michael
7	Review: Unit 6, parts 1 & 2 ・ Unit 6: Entertainment (Part 3)					HR教室	Michael
8	Mid-term exam					HR教室	Michael
9	Unit 7: Food (Part 1)					HR教室	Michael
10	Review: Unit 7, part 1 ・ Unit 7: Food (Part 2)					HR教室	Michael
11	Review: Unit 7, parts 1 & 2 ・ Unit 7: Food (Part 3)					HR教室	Michael
12	Unit 7 vocabulary ・ Unit 8: The Future (Part 1)					HR教室	Michael
13	Review: Unit 8, part 1 ・ Unit 8: The Future (Part 2)					HR教室	Michael
14	Review: Unit 8, parts 1 & 2 ・ Unit 8: The Future (Part 3)					HR教室	Michael
15	Review Units 5-8					HR教室	Michael
成績評価方法							
Final exam 50% Participation 30% Mid-term exam 20%							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
Continue from the first semester							
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
履修上の注意点							
Let's enjoy studying English.(楽しんで下さい) When you enjoy, you will learn more.(楽しく学ぶ時、よりたくさんのことを学べます)							
教員よりメッセージ							
Let's enjoy English!!(一緒に英語を楽しみましょう) Looking forward to seeing you!!(みんなに会えるのを楽しみにしています)							

授業科目	保健体育(実技)			講義形式	実習	科目コード	A110
担当教員	山口 浩二					科目区分	必修
開講時期	1年・前期	曜日・時限	火・4	授業回数	15回	単位数	1単位(通年)
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
バスケットボールの歴史及びルールや様々なシュートなどの基礎的技術を身につけ、安全に楽しくゲームを進行する方法を考える。またお互いの安全に配慮しながら、協調性やコミュニケーション能力、マナーを培い、生涯スポーツの実践力また社会性を身につけることを目的とする。							
この授業の到達目標							
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. バスケットボールの基本技術やルール、歴史を理解し説明することができる。</li> <li>2. バスケットボールの基本技術を活用し、安全に楽しくゲームを実践するための工夫ができる。</li> <li>3. バスケットボールを通して基礎的体力、健康維持増進を図ることができる。</li> <li>4. 基本練習やゲームを通してマナーを守り、協調性やコミュニケーション能力を身につける。</li> </ol>							
授業スケジュール							
回数	内容				場所	担当	
1	オリエンテーション				体育館	山口	
2	バスケットボールの歴史とルール				体育館	山口	
3	基本技術の習得(パス、ドリブルなど)				体育館	山口	
4	基本技術の習得(ドリブルシュートなど)				体育館	山口	
5	実技テスト(ドリブルシュート)				体育館	山口	
6	基本技術の習得(フリースロー)				体育館	山口	
7	基本技術の習得(フリースロー、3ポイントなど)				体育館	山口	
8	実技テスト(フリースロー)				体育館	山口	
9	基本技術の習得(3ポイントシュートなど)				体育館	山口	
10	基本技術の習得(3ポイントシュートなど)				体育館	山口	
11	実技テスト(3ポイントシュート)				体育館	山口	
12	実技テスト(30秒間シュート)				体育館	山口	
13	バスケットボールの実践(ハーフコート)				体育館	山口	
14	バスケットボールの実践(ハーフコート)				体育館	山口	
15	バスケットボールの実践(フルコート)				体育館	山口	
成績評価方法							
実技試験 70% 課題・レポート等 30%							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
履修上の注意点							
主体的に授業にのぞむよう私語やスマートフォン等の使用は禁止です。また、実技の場合は必ずジャージと体育館用シューズを着用してください。着用していない場合は授業の参加を認めることができません。また、対面授業が実施できなくなった場合は、オンライン授業を行います。その際には毎時間終了後に課題提出があります。							
教員よりメッセージ							

授業科目	保健体育(実技)			講義形式	実習	科目コード	A110
担当教員	山口 浩二					科目区分	必修
開講時期	1年・後期	曜日・時限	火・4	授業回数	15回	単位数	1単位(通年)
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
バレーボールの歴史及びルールやサーブ、レシーブ、トス、スパイクなどの基礎的技術を身につけ、安全に楽しくゲームを進行する方法を考える。またお互いの安全に配慮しながら、協調性やコミュニケーション能力、マナーを培い、生涯スポーツの実践力また社会性を身につけることを目的とする。							
この授業の到達目標							
<ol style="list-style-type: none"> <li>バレーボールの基本技術やルール、歴史を理解し説明することができる。</li> <li>バレーボールの基本技術を活用し、安全に楽しくゲームを実践するための工夫ができる。</li> <li>バレーボールを通して基礎的体力、健康維持増進を図ることができる。</li> <li>基本練習やゲームを通してマナーを守り、協調性やコミュニケーション能力を身につける。</li> </ol>							
授業スケジュール							
回数	内容				場所	担当	
1	バレーボールの歴史とルール				体育館	山口	
2	基本技術の習得(アンダーハンドパスなど)				体育館	山口	
3	基本技術の習得(オーバーハンドパスなど)				体育館	山口	
4	基本技術の習得(パスの応用など)				体育館	山口	
5	実技テスト(アンダーハンドパス、オーバーハンドパス)				体育館	山口	
6	基本技術の習得(様々なサーブ)				体育館	山口	
7	基本技術の習得(サーブ、レシーブ)				体育館	山口	
8	基本技術の習得(サーブ、レシーブ、トス)				体育館	山口	
9	基本技術の習得(サーブ、レシーブ、トス、スパイク)				体育館	山口	
10	実技テスト(サーブ、レシーブ、トス、スパイク)				体育館	山口	
11	バレーボールの実践				体育館	山口	
12	バレーボールの実践				体育館	山口	
13	バレーボールの実践(ゲーム)				体育館	山口	
14	バレーボールの実践(ゲーム)				体育館	山口	
15	バレーボールの実践(ゲーム)				体育館	山口	
成績評価方法							
実技試験 70% 課題・レポート等 30%							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
履修上の注意点							
主体的に授業にのぞむよう私語やスマートフォン等の使用は禁止です。また、実技の場合は必ずジャージと体育館用シューズを着用してください。着用していない場合は授業の参加を認めることができません。また、対面授業が実施できなくなった場合は、オンライン授業を行います。その際には毎時間終了後に課題提出があります。							
教員よりメッセージ							

授業科目	解剖学 I			講義形式	講義	科目コード	A201
担当教員	平岡一志・藤原冬美					科目区分	必修
開講時期	1年・前期	曜日・時限	木-1・2	授業回数	30回	単位数	4単位
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
この授業では人体を構成する器官のうち、運動器系(骨・関節・筋)についてその構造や特徴、機能を学んでいきます。							
この授業の到達目標							
①人体における各器官の位置や構造、機能などを表す医学的な専門用語を理解し使用することができる。 ②解剖学の基礎となる組織学・発生学についての概要を理解することができる。 ③運動器(骨・関節・筋)の構造や特徴、機能を理解することができる。							
授業スケジュール							
回数	内容					場所	担当
1	解剖学とは、解剖学用語(18-26)、骨模型の扱い方(384-385)					HR教室	平岡・藤原
2	骨学総論(27-30)、骨学各論1:鎖骨・肩甲骨(48-50)					HR教室	平岡・藤原
3	骨学各論2:上腕骨・橈骨・尺骨・手の骨(51-57)					HR教室	平岡・藤原
4	骨学各論3:脊柱(183-190)					HR教室	平岡・藤原
5	骨学各論4:胸郭の骨(191-196)・寛骨と骨盤(105-110・190)					HR教室	平岡・藤原
6	骨学各論5:大腿骨・脛骨・腓骨・足の骨(105-121)					HR教室	平岡・藤原
7	骨学各論6:頭蓋1(178-182)					HR教室	平岡・藤原
8	組織学:人体の構成(別資料)、骨学各論7:頭蓋2(172-177)					HR教室	平岡・藤原
9	骨学のまとめ、関節学総論:関節の構造と機能(36-47)					HR教室	平岡・藤原
10	関節学各論1:顎関節・脊柱の関節・胸郭の関節(197-207)					HR教室	平岡・藤原
11	関節学各論2:上肢帯・上肢の関節(58-67)					HR教室	平岡・藤原
12	関節学各論3:骨盤・下肢の関節(122-133)					HR教室	平岡・藤原
13	筋学総論(31-35)、筋学各論1:上肢の筋1(68-73)					HR教室	平岡・藤原
14	筋学各論2:上肢の筋2(74-87)					HR教室	平岡・藤原
15	筋学各論3:体幹の筋(208-232)					HR教室	平岡・藤原
成績評価方法							
定期的な確認テスト、期末試験、提出物により総合的に評価する。 配分:小テストと提出物(10%)骨学確認テスト(40%)期末試験(50%)							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
PTOTビジュアルテキスト:解剖学第2版		町田志樹		羊土社		978-4-7581-1436-3	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
プロメテウス解剖学アトラス 第2版		坂井 建雄:監訳		医学書院		978-4-260-01932-3	
履修上の注意点							
授業内容に専門用語が多くすぐには理解しにくいので、当該授業までにあらかじめテキストを読んでおくことを勧めます。							
教員よりメッセージ							
解剖学は理学療法士にとって生涯を通じて必要とされる基礎学問です。予習、復習をしっかりと行い、基本的な知識を身につけましょう。文字情報ばかりでなく、模型の活用や図を書くなどを通して人体構造を頭の中でイメージできるようにすることが大切です。							



授業科目	解剖学Ⅱ			講義形式	講義	科目コード	A202
担当教員	平岡一志・藤原冬美					科目区分	必修
開講時期	1年・後期	曜日・時限	木-1・2	授業回数	30回	単位数	4単位
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
この授業では人体を構成する器官のうち、筋系・神経系・感覚器系・循環器系および内臓学についてその構造や特徴、機能を学んでいきます。							
この授業の到達目標							
①筋の構造や特徴、機能を理解することができる。 ②中枢神経系・末梢神経系・感覚器系の機能と構造やそれぞれの関係性を理解できる。 ③循環器系・呼吸器系・消化器系・泌尿器系・内分泌系・生殖器系の構造や特徴、機能を理解することができる。 ④人体の発生について理解することができる。							
授業スケジュール							
回数	内容				場所	担当	
1	筋学各論4: 下肢の筋1(134-144)				HR教室	平岡・藤原	
2	筋学各論5: 下肢の筋2(144-155)、体幹の神経(355-359)				HR教室	平岡・藤原	
3	末梢神経系1: 上肢の神経(93-97)				HR教室	平岡・藤原	
4	末梢神経系2: 下肢の神経(160-165)				HR教室	平岡・藤原	
5	中枢神経系1: 概観・髄膜と脳室(330-334、342-344)				HR教室	平岡・藤原	
6	中枢神経系2: 終脳(335-340)				HR教室	平岡・藤原	
7	中枢神経系3: 小脳・間脳・脳幹(345-351)				HR教室	平岡・藤原	
8	中枢神経系4: 脊髄(351-353)、前半のまとめ				HR教室	平岡・藤原	
9	感覚器系(368-383)				HR教室	平岡・藤原	
10	末梢神経系3: 脳神経(360-363)				HR教室	平岡・藤原	
11	上行性神経路と下行性神経路(353-355)				HR教室	平岡・藤原	
12	自律神経系と内分泌系(363-366・304-314)循環器系1(236-249)				HR教室	平岡・藤原	
13	循環器系2(249-256)・呼吸器系(258-275)				HR教室	平岡・藤原	
14	消化器系(276-303)				HR教室	平岡・藤原	
15	泌尿器・生殖器系(316-329)・人体の発生(別資料)・まとめ				HR教室	平岡・藤原	
成績評価方法							
定期的な確認テスト、期末試験、提出物により総合的に評価する。 配分: 小テストと提出物(10%) 単元末試験(筋・神経・内臓)(各30%)							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社	ISBNコード		
PTOTビジュアルテキスト:解剖学第2版		町田志樹		羊土社	978-4-7581-1436-3		
参考書							
書名		著者		出版社	ISBNコード		
プロメテウス解剖学アトラス 第2版		坂井 建雄:監訳		医学書院	978-4-260-01932-3		
履修上の注意点							
日程の詳細については別に通知します。							
教員よりメッセージ							
解剖学は理学療法士にとって生涯を通じて必要とされる基礎学問です。予習、復習をしっかり行い、基本的な知識を身につけましょう。文字情報ばかりでなく、模型の活用や図を書くなどを通して人体構造を頭の中でイメージできるようにすることが大切です。							

授業科目	生理学			講義形式	講義	科目コード	A203
担当教員	藤原 冬美					科目区分	必修
開講時期	1年・前期	曜日・時限	火・2	授業回数	15回	単位数	4単位(通年)
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
生理学(Physiology)は、生命活動の動的機構の解析を目的とし、細胞や器官の機能解明と、これらの機能が統合された個体全体の生命現象の解明を目指す学問である。これらを理学療法士の視点で解釈し、各分野について講義を行っていく。							
この授業の到達目標							
人間が生きていくための身体のしくみを学習し、理解する。医学における生理学の位置づけと、理学療法における生理学の重要性について学ぶ。							
授業スケジュール							
回数	内容					場所	担当
1	生理学の基礎					HR教室	藤原
2	神経とシナプス(膜電位とイオン、活動電位)					HR教室	藤原
3	神経とシナプス(シナプス)					HR教室	藤原
4	筋の生理学(筋の微細構造、筋収縮のメカニズム)					HR教室	藤原
5	筋の生理学(筋収縮の筋電図)					HR教室	藤原
6	前半のまとめ、神経系(神経系の概要、末梢神経)					HR教室	藤原
7	神経系(中枢神経系①脊髄、中枢神経系②脳幹)					HR教室	藤原
8	神経系(大脳皮質)					HR教室	藤原
9	神経系(高次機能)					HR教室	藤原
10	神経系(中枢神経系と運動)					HR教室	藤原
11	神経系(自律神経系)					HR教室	藤原
12	感覚(感覚の一般的性質、体性感覚)					HR教室	藤原
13	感覚(聴覚と平衡感覚)					HR教室	藤原
14	感覚(視覚)					HR教室	藤原
15	感覚(嗅覚と味覚、内臓感覚)					HR教室	藤原
成績評価方法							
筆記試験、小テストを総合して評価する。 (中間試験が40%、期末試験が50%、小テスト 10%)							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
はじめの一歩のイラスト生理学改訂第2版		照井直人		羊土社		978-4-7581-2029-6	
消って忘れない 生理学要点整理ノート改訂版2版		佐々木誠一		羊土社		978-4-7581-0789-1	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
病気がみえるVol.1~10				MEDIC MEDIA			
履修上の注意点							
出席日数の足りない学生は期末試験の受験を認めないので注意してください。オンデマンド受講を指示された際には、期限までに動画を視聴し課題を提出したものについて出席とします。							
教員よりメッセージ							
皆さんのからだの中ではいろいろなことが起こっています。目で見えない事象に向かい合っていく講義になりますので、わからないことは積極的に質問してください。 理学療法士になる上で、最も基礎的で大切な科目の一つです。							

授業科目	生理学			講義形式	講義	科目コード	A203
担当教員	藤原 冬美					科目区分	必修
開講時期	1年・後期	曜日・時限	月・2	授業回数	15回	単位数	4単位(通年)
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
生理学(Physiology)は、生命活動の動的機構の解析を目的とし、細胞や器官の機能解明と、これらの機能が統合された個体全体の生命現象の解明を目指す学問である。これらを理学療法士の視点で解釈し、各分野について講義を行っていく。							
この授業の到達目標							
人間が生きていくための身体のしくみを学習し、理解する。医学における生理学の位置づけと、理学療法における生理学の重要性について学ぶ。							
授業スケジュール							
回数	内容					場所	担当
1	血液と組織(血液の組成、赤血球と血液型)					HR教室	藤原
2	血液と組織(白血球と免疫、凝固の機序)					HR教室	藤原
3	心臓と循環(心臓の働き)					HR教室	藤原
4	心臓と循環(心電図～循環の調節)					HR教室	藤原
5	呼吸(呼吸の概要と気道系～呼吸量の測定)					HR教室	藤原
6	呼吸(肺におけるガス交換～呼吸の神経性調節と呼吸パターン)					HR教室	藤原
7	前半のまとめ					HR教室	藤原
8	消化と吸収(消化吸収の概要～胃での消化作用)					HR教室	藤原
9	消化と吸収(小腸の消化吸収作用、大腸の機能と排便)					HR教室	藤原
10	栄養と代謝、体温の調節					HR教室	藤原
11	腎臓と尿					HR教室	藤原
12	体液について					HR教室	藤原
13	内分泌(内分泌の概要～視床下部ホルモンと下垂体ホルモン)					HR教室	藤原
14	内分泌(甲状腺ホルモン～副腎髄質ホルモン)					HR教室	藤原
15	生殖					HR教室	藤原
成績評価方法							
筆記試験、小テストを総合して評価する。 (中間試験が40%、期末試験が50%、小テスト 10%)							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
はじめの一步のイラスト生理学改訂第2版		照井直人		羊土社		978-4-7581-2029-6	
消って忘れない 生理学要点整理ノート改訂版2版		佐々木誠一		羊土社		978-4-7581-0789-1	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
病気がみえるVol.1～10				MEDIC MEDIA			
履修上の注意点							
出席日数の足りない学生は期末試験の受験を認めないので注意してください。オンデマンド受講を指示された際には、期限までに動画を視聴し課題を提出したものについて出席とします。							
教員よりメッセージ							
皆さんのからだの中ではいろいろなことが起こっています。目で見えない事象に向かい合っていく講義になりますので、わからないことは積極的に質問してください。 理学療法士になる上で、最も基礎的で大切な科目の一つです。							

授業科目	人間発達学			講義形式	講義	科目コード	A204
担当教員	廣江 健人					科目区分	必修
開講時期	1年・後期	曜日・時限	水・3	授業回数	15回	単位数	2単位
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
身体及び精神、認知機能の正常な発達を理解し、発達の視点からのアプローチを考える基礎とする。							
この授業の到達目標							
1、胎生期から老年期までの人間の発達過程について理解する 2、今後理学療法士として関わるであろうひとが、どのような発達段階か、またどのような心理・社会的状況なのかが結び付けられる。							
授業スケジュール							
回数	内容					場所	担当
1	発達の概念					HR教室	廣江
2	発達の概念					HR教室	廣江
3	発達の理論					HR教室	廣江
4	原始反射					HR教室	廣江
5	姿勢反射／反応					HR教室	廣江
6	運動発達(0～3カ月)					HR教室	廣江
7	運動発達(4～6カ月)					HR教室	廣江
8	運動発達(7～9カ月)					HR教室	廣江
9	運動発達(10～12カ月)					HR教室	廣江
10	運動発達(13～18カ月 歩行を中心として)					HR教室	廣江
11	上肢機能の発達					HR教室	廣江
12	ADLの発達(遊び・食事)					HR教室	廣江
13	ADLの発達(排泄・更衣)					HR教室	廣江
14	感覚・知覚・認知・社会性の発達					HR教室	廣江
15	学童・青年・成人・老年期の発達					HR教室	廣江
成績評価方法							
出席状況・授業態度(10%)・期末試験(90%)							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
イラストでわかる人間発達学		上杉雅之		医歯薬出版株式会社		978-4-263-21945-4	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
生涯人間発達学		上田礼子		三輪書店		978-4-89590-399-8	
履修上の注意点							
座学中心の授業となります。出席日数の足りない学生は期末試験の受験を認めないので注意してください。オンデマンド受講を指示された際には、期限までに動画を視聴し課題を提出したのについて出席とします。							
教員よりメッセージ							
どのように発達するかという統計についてなどの学問です。 初めて聞く専門用語がたくさん出てくるので、その都度復習してください。							

授業科目	基礎運動学			講義形式	講義	科目コード	A205
担当教員	吉川 李奈					科目区分	必修
開講時期	1年・前期	曜日・時限	金・3	授業回数	15回	単位数	4単位(通年)
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
人の動きを学ぶために必要な運動学の基礎知識を習得し、基礎的な運動のメカニズムを理解する。							
この授業の到達目標							
1. 運動学に必要な基本的用語を理解する。 2. 関節運動に必要な骨・関節・筋の構造を理解する。 3. 姿勢の基本的用語を理解する。							
授業スケジュール							
回数	内容					場所	担当
1	オリエンテーション					HR教室	吉川
2	運動器の基礎					HR教室	吉川
3	運動学の基礎(骨・関節・靭帯)					HR教室	吉川
4	運動学の基礎(筋)					HR教室	吉川
5	運動学の基礎(関節運動・姿勢)					HR教室	吉川
6	運動力学の基礎					HR教室	吉川
7	姿勢					HR教室	吉川
8	立位での重心と支持基底					HR教室	吉川
9	運動学基礎まとめ					HR教室	吉川
10	神経系と感覚器系の基礎					HR教室	吉川
11	筋の収縮様式					HR教室	吉川
12	関節の運動方向					HR教室	吉川
13	姿勢と動作					HR教室	吉川
14	呼吸運動・嚥下運動					HR教室	吉川
15	まとめ					HR教室	吉川
成績評価方法							
期末試験80% 小テスト10% 授業への参加10%							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
人間の運動学		宮本 省三		協同医書出版		978-4-7639-0039-5	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
基礎運動学		中村 隆一		医歯薬出版		978-4-263-21153-3	
筋骨格系のキネシオロジー		Donald A. Neumann		医歯薬出版		978-4-263-21395-7	
履修上の注意点							
出席日数の足りない学生は期末試験の受験を認めないので注意してください。 オンデマンド受講を指示された際には、期限まで動画を視聴し課題を提出したのものについて出席とします。 実習室で行う講義に関しては、動きやすい服装で参加してください。							
教員よりメッセージ							
運動学は解剖学・生理学とならび、将来理学療法士として患者さんの治療を行ううえで必ず知っておかなくてはならない基礎知識です。専門用語を覚えることに難渋するかもしれませんが、わからないことはその都度解決しながら学んでいきましょう。イメージをしながら学べるかが大きなポイントとなります。							

授業科目	基礎運動学			講義形式	講義	科目コード	A205
担当教員	吉川 李奈					科目区分	必修
開講時期	1年・後期	曜日・時限	木・3	授業回数	15回	単位数	4単位(通年)
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
運動の遂行に必要な骨、関節、神経の構造と機能や各関節の基礎知識を学ぶ。そこから、運動学的知識に基づいた身体の使い方について学習する。							
この授業の到達目標							
1. 関節運動に必要な骨・関節・筋の構造を理解する 2. 関節の運動のしくみを理解する 3. 歩行の基本的なしくみを理解する							
授業スケジュール							
回数	内容				場所	担当	
1	オリエンテーション				HR教室	吉川	
2	肩甲帯の関節運動				HR教室	吉川	
3	肩関節の関節運動				HR教室	吉川	
4	肘関節・前腕の関節運動				HR教室	吉川	
5	手関節の関節運動				HR教室	吉川	
6	上肢の関節運動まとめ				HR教室	吉川	
7	骨盤・股関節の関節運動				HR教室	吉川	
8	膝関節の関節運動				HR教室	吉川	
9	足関節・足部の関節運動				HR教室	吉川	
10	脊柱の関節運動①				HR教室	吉川	
11	脊柱の関節運動②				HR教室	吉川	
12	運動学習(学習モデル)				HR教室	吉川	
13	運動学習(姿勢制御)				HR教室	吉川	
14	運動学習(運動制御)				HR教室	吉川	
15	まとめ				HR教室	吉川	
成績評価方法							
中間試験(40%) 期末試験(40%) 小テスト(10%) 授業への参加(10%)							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
人間の運動学		宮本 省三		協同医書出版		978-4-7639-0039-5	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
基礎運動学		中村 隆一		医歯薬出版		978-4-263-21153-3	
筋骨格系のキネシオロジー		Donald A. Neumann		医歯薬出版		978-4-263-21395-7	
履修上の注意点							
出席日数の足りない学生は期末試験の受験を認めないので注意してください。 オンデマンド受講を指示された際には、期限まで動画を視聴し課題を提出したのものについて出席とします。							
教員よりメッセージ							
運動学は解剖学・生理学とならび、将来理学療法士として患者さんの治療を行ううえで必ず知っておかなくてはならない基礎知識です。専門用語を覚えることに難渋するかもしれませんが、わからないことはその都度解決しながら学んでいきましょう。イメージをしながら学べるかが大きなポイントとなります。							

授業科目	運動学実習			講義形式	実習	科目コード	A206
担当教員	太田 光洋					科目区分	必修
開講時期	1年・後期	曜日・時限	水-1・2	授業回数	15回	単位数	1単位
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
基礎運動学での講義内容を元にした実習で、座学の内容を実際に自分の身体を動かしながら理解を深めることを目的とする。							
この授業の到達目標							
1.基礎運動学・生理学・解剖学で学んだ内容をヒトの身体に置き換えて理解を深める 2.機器を使用しながら運動を立体的かつ3Dで理解する 3.実習結果と知識を結びつけ、考察できるようになる							
授業スケジュール							
回数	内容					場所	担当
1	オリエンテーション					実習室	太田、吉川
2	体格と筋力の関係					実習室	太田、吉川
3	筋力評価					実習室	太田、吉川
4	筋電図					実習室	太田、吉川
5	低周波による筋収縮。刺激反応時間					実習室	太田、吉川
6	血圧測定					実習室	太田、吉川
7	呼吸機能					実習室	太田、吉川
8	歩行の基礎					実習室	太田、吉川
9	歩行の関節運動と筋活動①					実習室	太田、吉川
10	歩行の関節運動と筋活動②					実習室	太田、吉川
11	歩行時の重心・床反力・足圧①					実習室	太田、吉川
12	歩行時の重心・床反力・足圧②					実習室	太田、吉川
13	歩行のバイオメカニクス					実習室	太田、吉川
14	歩行のバイオメカニクス					実習室	太田、吉川
15	まとめ					実習室	太田、吉川
成績評価方法							
期末試験 50% レポート課題 30% 授業への参加 20%							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
人間の運動学		宮本 省三		協同医書出版		978-4-7639-0039-5	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
理学療法・作業療法テキスト 運動学実習		石川 郎		中山書店		978-4-521-73666-2	
履修上の注意点							
レポート提出期限は厳守し、期限以降の提出は受け取りません。 ジャージ・ハーフパンツなどの実習に適した服装で参加して下さい。 オンデマンド受講を指示された際には、期限まで動画を視聴し課題を提出したものについて出席とします。							
教員よりメッセージ							
生理学、解剖学、運動学で学習した内容を、体を使いながら理解を深めていきます。 ヒトの運動を2D→3Dで理解する事が大きな目標となります。また、機器を使用しながら自分自身の重心移動や基底面の理解を深めていきますので、他者の体や自分の体に対し興味を持って取り組んで下さい							

授業科目	リハビリテーション概論			講義形式	講義	科目コード	A221
担当教員	廣江健人・太田光洋・藤山一宏・平岡一志・嘉本みゆき・岩田隆士・島岡卓弘・藤原冬美・吉川李奈・中野・榎重治・前重壮寿・岩本義隆 (理学療法士として医療機関にて実務経験あり)					科目区分	必修
開講時期	1年・後期	曜日・時限	火・3	授業回数	15回	単位数	2単位
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
リハビリテーションの概念・定義やリハビリテーション医学・医療の歴史、リハビリテーション医療の流れリハビリテーション関連職種 of 専門分野・役割、リハビリテーション医療におけるチーム・アプローチ、クライアント中心の医療などの教授を通じ、専門職としての理念、役割を自ら考える基盤を形成する。							
この授業の到達目標							
リハビリテーションの基本的な概念や目的、必要な知識、倫理、心構えを学ぶ。 リハビリテーションに携わる専門職としての理解を深める。							
授業スケジュール							
回数	内容					場所	担当
1	オリエンテーションについて					HR教室	廣江
2	リハビリテーションの歴史とその理念・定義・目的について					HR教室	太田
3	クリニックにおけるリハビリテーションについて					HR教室	藤山・平岡
4	障がいとはなにか					HR教室	平岡
5	リハビリテーションにおける理学療法士のかかわり					HR教室	嘉本・平岡
6	障かいのとらえ方(評価:国際障害分類と国際生活機能分類について)					HR教室	岩田
7	リハビリテーションにおける評価とリハビリテーションの展開					HR教室	廣江
8	急性期・回復期のリハビリテーションの現場について					HR教室	島岡・岩田
9	事故防止と感染症予防					HR教室	藤原
10	リハビリテーションにおけるチームアプローチについて					HR教室	吉川
11	リハビリテーションにおけるチームアプローチについて					HR教室	中野・榎
12	生活期でのリハビリテーションの現場について					HR教室	前重・廣江
13	リハビリテーションに関わる法律・制度について					HR教室	榎
14	さまざまなリハビリテーションの現場について					HR教室	岩本・太田
15	リハビリテーション専門職としての倫理と心構え					HR教室	平岡
成績評価方法							
期末試験50% レポート・課題50% を総合して評価する。 出席日数が規定以下の者は期末試験を受験させない。							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
セラピストのための概説リハビリテーション		嶋田智明編		文光堂		978-4-8306-4564-8	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
履修上の注意点							
教員よりメッセージ							
リハビリテーションについて多くの方が初めて学ぶ講義かと思えます。 皆さんが目指される理学療法士がどのような職種か、どのような職種と一緒に働くのかを知っていただければと思います。現場で働いている理学療法士の先生の講義もたくさん用意しました。興味を持って受講しましょう。							





授業科目	基礎運動療法学 I			講義形式	演習	科目コード	A303
担当教員	榎 重治(理学療法士として医療機関にて実務経験あり)					科目区分	必修
開講時期	1年・後期	曜日・時限	月・4	授業回数	15回	単位数	2単位
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
理学療法の治療技術である運動療法の基本的知識について学ぶ。							
この授業の到達目標							
1. 運動療法の定義・目的・対象について理解できる。 2. 運動療法の概要をについて理解できる。							
授業スケジュール							
回数	内容				場所	担当	
1	オリエンテーション				HR教室	榎	
2	理学療法の種類				HR教室	榎	
3	筋力増強トレーニング				HR教室・実習室	榎	
4	物理療法・徒手療法				HR教室・実習室	榎	
5	義肢・装具・車いす・歩行補助具				HR教室・実習室	榎	
6	姿勢				HR教室・実習室	榎	
7	基本動作練習				HR教室・実習室	榎	
8	基本動作練習				HR教室・実習室	榎	
9	関節可動域運動・ストレッチ				HR教室・実習室	榎	
10	関節可動域運動・ストレッチ				HR教室・実習室	榎	
11	関節可動域運動・ストレッチ				HR教室・実習室	榎	
12	関節可動域運動・ストレッチ				HR教室・実習室	榎	
13	関節可動域運動・ストレッチ				HR教室・実習室	榎	
14	関節可動域運動・ストレッチ				HR教室・実習室	榎	
15	まとめ				HR教室	榎	
成績評価方法							
期末試験 80% 出席 20%							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社	ISBNコード		
改訂第2版 PTスタートガイド 基礎理学療法概論		監修 網本 和		メジカルビュー社	978-4-7583-2256-0		
参考書							
書名		著者		出版社	ISBNコード		
履修上の注意点							
出席日数の足りない学生は期末試験の受験を認めないので注意してください。 オンデマンド受講を指示された際には、期限までに動画を視聴し課題を提出したのについて出席とします。							
教員よりメッセージ							
専門用語が出てきますので、わからないことは必ず調べたり、質問し復習すること							

授業科目	基礎評価学			講義形式	演習	科目コード	A306
担当教員	吉川 李奈 藤原 冬美(理学療法士として医療機関にて実務経験あり)					科目区分	必修
開講時期	1年・後期	曜日・時限	金-1・2	授業回数	30回	単位数	4単位
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
理学療法に必要な基本的評価の意義、各検査項目の目的・方法を理解する。							
この授業の到達目標							
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 理学療法評価について理解することができる。</li> <li>2. 患者の全体像を把握するための一般的評価事項について理解することができる。</li> <li>3. バイタルサインについて理解し、評価法を身に付ける。</li> <li>4. 身体の形態について理解し、計測法を身に付ける。</li> <li>5. 関節可動域について理解し、測定法および評価法を身に付ける。</li> </ol>							
授業スケジュール							
回数	内容					場所	担当
1	総論					HR教室	吉川
2	一般的評価事項					HR教室	吉川
3	一般的評価事項					HR教室	吉川
4	バイタルサイン(バイタルサインとは、意識状態、心拍・脈拍)					HR教室	吉川
5	バイタルサイン(呼吸、血圧、体温)					HR教室	吉川
6	形態測定(形態測定とは、四肢長および肢節長)					HR教室	吉川
7	形態測定(四肢周径)					HR教室	吉川
8	形態測定(上肢実用長、下肢実用長、切断端長、切断端周径)					HR教室	吉川
9	前半のまとめ					HR教室	吉川
10	関節可動域測定(総論、上肢)					HR教室	吉川
11	関節可動域測定(上肢)					HR教室	吉川
12	関節可動域測定(下肢)					HR教室	吉川
13	関節可動域測定(下肢・体幹)					HR教室	吉川
14	関節可動域測定(体幹)					HR教室	吉川
15	後半のまとめ					HR教室	吉川
成績評価方法							
筆記試験(50%)、実技試験(50%)							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
理学療法評価学		松澤正・江口勝彦		金原出版株式会社		978-4-307-75068-4	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
フィジカルアセスメントがみえる		医療情報科学研究所		MEDIC MEDIA		978-4-896-32566-9	
履修上の注意点							
<p>実習室で行う際には必ずジャージで参加してください。実技練習はできるようになるまで何度も繰り返し行ってください。</p> <p>出席日数の足りない学生は期末試験の受験を認めないので注意してください。オンデマンド受講を指示された際には、期限まで動画を視聴し課題を提出したものについて出席とします。</p>							
教員よりメッセージ							
検査・評価は理学療法士が対象者に対して必ず実施する内容です。検査の意義を理解し、積極的に実技練習を実施してください。							

授業科目	社会保障学			講義形式	講義	科目コード	P106
担当教員	古澤幸治・平岡一志・榎重治・廣江健人・岩田隆士					科目区分	必修
開講時期	4年・後期	曜日・時限	不定期	授業回数	8回	単位数	1単位
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
社会保障制度(生活保護制度・医療保険・年金・障害者福祉・高齢者福祉・権利擁護)の概要を理解することを目的とする。							
この授業の到達目標							
わが国の社会保障制度について理解し、自身・家族の将来について考えることができる。							
授業スケジュール							
回数	内容				場所	担当	
1	オリエンテーション・社会保障制度とは何か				HR教室	平岡	
2	労働災害保険・雇用保険制度について				HR教室	藤原	
3	障害者福祉制度について				HR教室	吉川	
4	生活保護制度について				HR教室	廣江	
5	年金制度について				HR教室	岩田	
6	権利擁護について				HR教室	榎	
7	わが国の社会制度の動向				HR教室	古澤	
8	まとめ				HR教室	平岡	
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
成績評価方法							
期末試験70% 授業出席30%							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
現場で役立つ社会保障制度活用ガイド2023年版		福島敏之		中央法規		978-4-8058-8300-6	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
履修上の注意点							
出席日数が規定日数に達していない学生は期末試験を受験させないので注意すること							
教員よりメッセージ							
国家試験でも問われるので、しっかり学習してください。 また、臨床現場でも基礎知識として理解されておくと役立ちます。							

授業科目	英会話			講義形式	講義	科目コード	P112
担当教員	Michael Davenport					科目区分	必修
開講時期	2年・前期	曜日・時限	火・2	授業回数	15回	単位数	4単位(通年)
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
This class will help students improve their English conversation skills.							
この授業の到達目標							
Clear training in how to speak English like a native speaker will be given. Students will understand the differences between Japanese and Western cultural speaking styles in order to communicate more effectively. Students will also spend much time in class learning vocabulary and speaking with classmates about everyday life topics, such as: getting acquainted, daily life routines, hometowns, and travel. By the end of the course, if students work hard, they will be able to speak English more fluently, accurately, and with more complexity than they could at the beginning of the year.							
授業スケジュール							
回数	内容					場所	担当
1	Introduction to the course ・ Textbook: Let's Get Started unit					HR教室	Michael
2	Review: 1st time greetings ・ Unit 1: Getting Acquainted (Part 1)					HR教室	Michael
3	Review: Unit 1, part 1 ・ Unit 1: Getting Acquainted (Part 2)					HR教室	Michael
4	Review: Unit 1, parts 1&2 ・ Unit 1: Getting Acquainted (Part 3)					HR教室	Michael
5	Unit 1 vocabulary ・ Unit 2: Daily Life (Part 1)					HR教室	Michael
6	Review: Unit 2, part 1 ・ Unit 2: Daily Life (Part 2)					HR教室	Michael
7	Review: Unit 2, parts 1&2 ・ Unit 2: Daily Life (Part 3)					HR教室	Michael
8	Mid-term exam					HR教室	Michael
9	Unit 3: Hometown (Part 1)					HR教室	Michael
10	Review: Unit 3, part 1 ・ Unit 3: Hometown (Part 2)					HR教室	Michael
11	Review: Unit 3, parts 1&2 ・ Unit 3: Hometown (Part 3)					HR教室	Michael
12	Unit 4: Travel (Part 1)					HR教室	Michael
13	Review: Unit 4, part 1 ・ Unit 4: Travel (Part 2)					HR教室	Michael
14	Review: Unit 4, parts 1&2 ・ Unit 4: Travel (Part 3)					HR教室	Michael
15	Review Units 1-4					HR教室	Michael
成績評価方法							
Final exam 50% Participation 30% Mid-term exam 20%							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
Conversations in Class, 3rd Edition		Jerry Talandis Jr. and Bruno Vannieu		Alma Publishing		978-4-905343-12-7	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
履修上の注意点							
Let's enjoy studying English.(楽しんで下さい) When you enjoy, you will learn more.(楽しく学ぶ時、よりたくさんのことを学べます)							
教員よりメッセージ							
Let's enjoy English!!(一緒に英語を楽しみましょう) Looking forward to seeing you!!(みんなに会えるのを楽しみにしています)							

授業科目	英会話			講義形式	講義	科目コード	P112
担当教員	Michael Davenport					科目区分	必修
開講時期	2年・後期	曜日・時限	火・1	授業回数	15回	単位数	4単位(通年)
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
This class will help students improve their English conversation skills.							
この授業の到達目標							
Clear training in how to speak English like a native speaker will be given. Students will understand the differences between Japanese and Western cultural speaking styles in order to communicate more effectively. Students will also spend much time in class learning vocabulary and speaking with classmates about everyday life topics, such as: getting acquainted, daily life routines, hometowns, and travel. By the end of the course, if students work hard, they will be able to speak English more fluently, accurately, and with more complexity than they could at the beginning of the year.							
授業スケジュール							
回数	内容					場所	担当
1	Introduction to the course ・ Review: Units 1-4					HR教室	Michael
2	Unit 5: Free Time (Part 1)					HR教室	Michael
3	Review: Unit 5, part 1 ・ Unit 5: Free Time (Part 2)					HR教室	Michael
4	Review: Unit 5, parts 1 & 2 ・ Unit 5: Free Time (Part 3)					HR教室	Michael
5	Unit 5 vocabulary ・ Unit 6: Entertainment (Part 1)					HR教室	Michael
6	Review: Unit 6, part 1 ・ Unit 6: Entertainment (Part 2)					HR教室	Michael
7	Review: Unit 6, parts 1 & 2 ・ Unit 6: Entertainment (Part 3)					HR教室	Michael
8	Mid-term exam					HR教室	Michael
9	Unit 7: Food (Part 1)					HR教室	Michael
10	Review: Unit 7, part 1 ・ Unit 7: Food (Part 2)					HR教室	Michael
11	Review: Unit 7, parts 1 & 2 ・ Unit 7: Food (Part 3)					HR教室	Michael
12	Unit 7 vocabulary ・ Unit 8: The Future (Part 1)					HR教室	Michael
13	Review: Unit 8, part 1 ・ Unit 8: The Future (Part 2)					HR教室	Michael
14	Review: Unit 8, parts 1 & 2 ・ Unit 8: The Future (Part 3)					HR教室	Michael
15	Review Units 5-8					HR教室	Michael
成績評価方法							
Final exam 50% Participation 30% Mid-term exam 20%							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
Continue from the first semester							
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
履修上の注意点							
Let's enjoy studying English.(楽しんで下さい) When you enjoy, you will learn more.(楽しく学ぶ時、よりたくさんの方を学べます)							
教員よりメッセージ							
Let's enjoy English!!(一緒に英語を楽しみましょう) Looking forward to seeing you!!(みんなに会えるのを楽しみにしています)							



授業科目	体表解剖学			講義形式	講義	科目コード	P203
担当教員	岩田 隆士・太田 光洋					科目区分	必修
開講時期	2年・前期	曜日・時限	水・2	授業回数	15回	単位数	4単位(通年)
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
理学療法における視診・触診の目的を説明し、骨や関節、筋を正しく触診する事が出来るように実技形式で授業を進めていく。触診しやすい骨の触診から授業は進め、関節の触診、筋の触診へと授業を展開していく。							
この授業の到達目標							
1.触診の方法を習得し、不快感なく触ることができる。 2.上肢の骨・関節・筋を触診することができる。							
授業スケジュール							
回数	内容				場所	担当	
1	オリエンテーション・肩甲骨の触診(2～P26)				実習室	岩田・太田	
2	肩甲骨の触診・上腕骨の触診(P27～P44)				実習室	岩田・太田	
3	上腕骨の触診(P45～P59)				実習室	岩田・太田	
4	橈骨の触診・尺骨の触診(P60～P79)				実習室	岩田・太田	
5	手根骨と指骨の触診(P80～P106)				実習室	岩田・太田	
6	上肢骨まとめ				実習室	岩田・太田	
7	三角筋、大胸筋、棘上筋(P154～P171)				実習室	岩田・太田	
8	棘下筋、小円筋、大円筋、肩甲下筋(P172～P191)				実習室	岩田・太田	
9	広背筋、烏口腕筋、僧帽筋(P192～P207)				実習室	岩田・太田	
10	菱形筋、肩甲挙筋、小胸筋、前鋸筋、上腕二頭筋(P208～P230)				実習室	岩田・太田	
11	上腕筋、腕橈骨筋、上腕三頭筋、肘筋(P231～P249)				実習室	岩田・太田	
12	円回内筋、方形回内筋、回外筋、長掌筋、橈側手根屈筋(P250～P268)				実習室	岩田・太田	
13	尺側手根屈筋、長・短橈側手根伸筋、尺側手根伸筋、総指伸筋(P269～P289)				実習室	岩田・太田	
14	小指伸筋、長母指伸筋、短母指伸筋、浅指屈筋・深指屈筋(P293～P316)				実習室	岩田・太田	
15	上肢の骨と筋のまとめ				実習室	岩田・太田	
成績評価方法							
前期期末(筆記20%・実技25%)、後期期末(筆記20%・実技25%)、小テスト10%(通年)							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
機能解剖学的触診技術 上肢 改訂第2版		林 典雄		メジカルビュー		978-4-7583-1136-6	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学 第4版		野村 巖		医学書院		978-4-2600-2008-4	
履修上の注意点							
出席日数の足りない学生は期末試験の受験を認めないので注意してください。また、オンデマンド受講を指示された際には、期限までに動画を視聴し課題を提出したものについて出席とします。人の体に触れさせて頂く事を意識し、触診しやすい服装に着替えて、爪を短く切ってから授業に臨んでください。							
教員よりメッセージ							
単元ごとの基礎的な解剖は授業前に理解しておいてください。理学療法士にとって体表解剖学は身体を触診するうえで、とても重要な学問です。授業後の復習をおこたらず、しっかり理解してください。わからないことは、すぐ聞いてください。							



授業科目	体表解剖学			講義形式	講義	科目コード	P203
担当教員	岩田 隆士・太田 光洋					科目区分	必修
開講時期	2年・後期	曜日・時限	水・4	授業回数	15回	単位数	4単位(通年)
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
理学療法における視診・触診の目的を説明し、骨や関節、筋を正しく触診する事が出来るように実技形式で授業を進めていく。触診しやすい骨の触診から授業は進め、関節の触診、筋の触診へと授業を展開していく。							
この授業の到達目標							
1.触診の方法を習得し、不快感なく触ることができる。 2.下肢の骨・関節・筋を触診することができる。							
授業スケジュール							
回数	内容					場所	担当
1	オリエンテーション・骨盤の触診(P2～P17)					実習室	岩田・太田
2	大腿骨・膝周辺の触診の触診(P18～P35)					実習室	岩田・太田
3	膝関節周囲の触診・足関節および足部周囲(P36～P46)					実習室	岩田・太田
4	膝関節周囲の触診・足関節および足部周囲(P47～P67)					実習室	岩田・太田
5	足関節および足部周囲(P68～P85)					実習室	岩田・太田
6	下肢骨まとめ					実習室	岩田・太田
7	腸腰筋、縫工筋、大腿筋膜張筋、中殿筋(P140～P159)					実習室	岩田・太田
8	大殿筋、梨状筋、大腿方形筋ほか(P160～P171)					実習室	岩田・太田
9	長内転筋、恥骨筋・大内転筋(P172～P179)					実習室	岩田・太田
10	大腿四頭筋、半腱様筋、半膜様筋、大腿二頭筋(P180～P216)					実習室	岩田・太田
11	薄筋、膝窩筋、前脛骨筋、長趾伸筋、長母趾伸筋(P217～P235)					実習室	岩田・太田
12	下腿三頭筋、後脛骨筋、長趾屈筋、長母趾屈筋(P236～P253)					実習室	岩田・太田
13	長腓骨筋、短腓骨筋、第11・12肋骨、腰方形筋、胸鎖乳突筋(P235～P280)					実習室	岩田・太田
14	斜角筋群、腕神経叢、脊柱棘突起、腹筋群(P281～P306)					実習室	岩田・太田
15	下肢の骨と筋のまとめ					実習室	岩田・太田
成績評価方法							
前期期末(筆記20%・実技25%)、後期期末(筆記20%・実技25%)、小テスト10%(通年)							
授業用テキスト							
	書名	著者	出版社	ISBNコード			
	機能解剖学的触診技術 下肢 改訂第2版	林 典雄	メジカルビュー	798-4-7583-1137-3			
参考書							
	書名	著者	出版社	ISBNコード			
	標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学 第4版	野村 巖	医学書院	978-4-2600-2008-4			
履修上の注意点							
出席日数の足りない学生は期末試験の受験を認めないので注意してください。また、オンデマンド受講を指示された際には、期限までに動画を視聴し課題を提出したものについて出席とします。人の体に触れさせて頂く事を意識し、触診しやすい服装に着替えて、爪を短く切ってから授業に臨んでください。							
教員よりメッセージ							
单元ごとの基礎的な解剖は授業前に理解しておいてください。理学療法士にとって体表解剖学は身体を触診するうえで、とても重要な学問です。授業後の復習をおこたらず、しっかり理解してください。わからないことは、すぐ聞いてください。							

授業科目	関節運動学			講義形式	講義	科目コード	P208
担当教員	岩田 隆士					科目区分	必修
開講時期	2年・前期	曜日・時限	月・1	授業回数	30回	単位数	4単位(通年)
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
リハビリテーションに必要な肩甲帯から手指までの「上肢」の関節運動について説明する。正常な関節運動を理解することにより、人の動きについての知見を深めていく。							
この授業の到達目標							
1.上肢の関節運動について理解し、教科書上ではなく人の体(3D)でイメージ出来るようになる。 2.リハビリテーションに必要な上肢の関節運動を理解する。							
授業スケジュール							
回数	内容				場所	担当	
1	オリエンテーション、凹凸の法則、開放・閉鎖運動連鎖、滑膜関節				HR教室	岩田	
2	胸鎖関節・肩甲胸郭関節・肩鎖関節の支持機構と運動学				HR教室	岩田	
3	肩甲上腕関節の運動と肩甲上腕リズム				HR教室	岩田	
4	肩甲帯に關与する筋				HR教室	岩田	
5	肩甲上腕関節に關与する筋				HR教室	岩田	
6	胸鎖関節、肩甲胸郭関節、肩鎖関節のまとめ				HR教室	岩田	
7	肩関節・肩甲帯の確認・総復習				HR教室	岩田	
8	肘の関節学・運動学靭帯・運動学				HR教室	岩田	
9	前腕の関節学・運動学靭帯・運動学				HR教室	岩田	
10	肘関節と前腕に關与する筋				HR教室	岩田	
11	肘関節と前腕のまとめ				HR教室	岩田	
12	手関節の関節学・靭帯・運動学				HR教室	岩田	
13	手関節に關与する筋				HR教室	岩田	
14	手指の関節学・靭帯・運動学				HR教室	岩田	
15	手指に關与する筋				HR教室	岩田	
成績評価方法							
期末試験 50% 小試験 40% 授業への参加 10%							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
エッセンシャルキネシオロジー 原書第3版		Donald A. Neumann		南江堂		978-4-524-22653-5	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
人間の運動学 ヒューマンキネシオロジー		中村三夫		協同医書出版		978-4-7639-0039-5	
履修上の注意点							
出席日数の足りない学生は期末試験の受験を認めないので注意してください。 オンデマンド受講を指示された際には、期限までに動画を視聴し課題を提出したものについて出席とします。							
教員よりメッセージ							
関節運動学を理解するためには、筋骨格系の解剖と機能の正確な知識が基本となります。理学療法士は、この筋骨格系の解剖と機能の正確な知識に基づき、正常運動と異常運動の違いや代償運動について理解することで、一人一人の患者に対して的確な治療アプローチを行うことが可能になります。理学療法士には非常に大切な学問です。授業で分からない事があれば、すぐに聞いてくださいね。							

授業科目	関節運動学			講義形式	講義	科目コード	P208
担当教員	岩田 隆士					科目区分	必修
開講時期	2年・後期	曜日・時限	月・3	授業回数	30回	単位数	4単位(通年)
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
リハビリテーションに必要な脊柱から足趾までの「下肢」の関節運動について説明する。正常な関節運動を理解することにより、人の動きについての知見を深めていく。							
この授業の到達目標							
1.下肢の関節運動について理解し、教科書上ではなく人の体(3D)でイメージ出来るようになる。 2.リハビリテーションに必要な下肢の関節運動を理解する。							
授業スケジュール							
回数	内容				場所	担当	
1	脊柱彎曲、重心線、椎間板、脊椎の名称や特徴脊椎の支持機構				HR教室	岩田	
2	頭頸部の可動域や運動学、脊柱の屈曲伸展における椎間孔				HR教室	岩田	
3	胸椎・腰椎の可動域や運動学、ヘルニアの変位				HR教室	岩田	
4	腰仙関節と仙腸関節、頭頸部に関与する筋				HR教室	岩田	
5	体幹に関与する筋				HR教室	岩田	
6	脊柱のまとめと事例検討				HR教室	岩田	
7	脊柱と骨盤の確認・総復習				HR教室	岩田	
8	股関節(内・外反股、前捻角、靭帯、関節運動と制限因子)				HR教室	岩田	
9	股関節(腰椎骨盤リズム、フォースカップル、屈筋と腹筋の活動)				HR教室	岩田	
10	股関節周囲の筋(伸展・内転・外転・内旋・外旋筋、二関節筋)				HR教室	岩田	
11	膝関節(膝蓋骨の動き、靭帯、半月板)				HR教室	岩田	
12	膝関節(骨運動、Q角、膝蓋骨の外側トラッキング、膝周囲の筋)				HR教室	岩田	
13	膝周囲の筋、エクステンションラグ、膝の内旋と外旋				HR教室	岩田	
14	足関節と足部の支持機構と運動学、足部アーチ				HR教室	岩田	
15	足関節に関与する筋、下肢の運動のまとめ				HR教室	岩田	
成績評価方法							
期末試験 50% 小試験 40% 授業への参加 10%							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
エッセンシャルキネシオロジー 原書第3版		Donald A. Neumann		南江堂		978-4-524-22653-5	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
人間の運動学 ヒューマンキネシオロジー		中村三夫		協同医書出版		978-4-7639-0039-5	
履修上の注意点							
出席日数の足りない学生は期末試験の受験を認めないので注意してください。 オンデマンド受講を指示された際には、期限までに動画を視聴し課題を提出したのについて出席とします。							
教員よりメッセージ							
関節運動学を理解するためには、筋骨格系の解剖と機能の正確な知識が基本となります。理学療法士は、この筋骨格系の解剖と機能の正確な知識に基づき、正常運動と異常運動の違いや代償運動について理解することで、一人一人の患者に対して的確な治療アプローチを行うことが可能になります。理学療法士には非常に大切な学問です。授業で分からない事があれば、すぐに聞いてくださいね。							

授業科目	運動生理学			講義形式	講義	科目コード	P209
担当教員	廣江 健人					科目区分	必修
開講時期	2年・前期	曜日・時限	木・1	授業回数	15回	単位数	2単位
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
運動によって身体にどのような変化が生じ、その際の現象と仕組みについて、解剖学・生理学の知識をもとに深めていく講義です。運動の専門家として、生命活動を含めた内部の変化を説明できるようになってください。							
この授業の到達目標							
1.解剖学・生理学の知識を統合させ生理学的変化を理解する。 2.運動による生理学的変化を理解する							
授業スケジュール							
回数	内容					場所	担当
1	オリエンテーション					HR教室	廣江
2	筋の運動生理学					HR教室	廣江
3	換気の運動生理学①					HR教室	廣江
4	換気の運動生理学②					HR教室	廣江
5	ガス交換の運動生理学					HR教室	廣江
6	循環の運動生理学①					HR教室	廣江
7	循環の運動生理学②					HR教室	廣江
8	循環の運動生理学③					HR教室	廣江
9	体温の運動生理学					HR教室	廣江
10	栄養の運動生理学①					HR教室	廣江
11	栄養の運動生理学②					HR教室	廣江
12	内分泌の運動生理学					HR教室	廣江
13	身体組成					HR教室	廣江
14	トレーニングの効果					HR教室	廣江
15	まとめ					HR教室	廣江
成績評価方法							
小テスト 10% 期末試験 90%							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
リハビリテーション運動生理学		玉木 彰		メジカルビュー社		978-4-7583-1719-1	
履修上の注意点							
毎回、次回の範囲についてお伝えしますので、必ず授業までに範囲を読み込んだのちに参加してください。(読み込んでいる前提で講義を行います) 出席日数の足りない学生は期末試験の受験を認めないので注意して下さい。 オンデマンド受講を指示された際には、期限まで動画を視聴し課題を提出したのものについて出席とします。							
教員よりメッセージ							
1年次に学んだ「運動学」「解剖学」「生理学」を関連付けたカリキュラムです。 復習が重要となってくるので、1年次の復習をしながら理解していきましょう。							

授業科目	病理学			講義形式	講義	科目コード	P210
担当教員	達家 雅明 (医師として実務経験あり)					科目区分	必修
開講時期	2年・前期	曜日・時限	金・3	授業回数	15回	単位数	2単位
授業の概要・到達目標							
概要							
ヒトの疾病について、その病因と病変についての基本的な概念、そしてその具体的な発症の仕組みについて学ぶ。医療人の一員として、リハビリテーションに携わる専門職としての疾病への理解と造詣を深めることで、これから学ぶ様々な専門科目への円滑な学習進展とその意欲や興味を高めることを目的とする。							
到達目標							
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 将来携わることになる医療人の一員として、ヒトの疾病について興味を持てる。</li> <li>2. 「疾病」について深く理解することにより、今後、医療に関わる専門職としてその心構えができる。</li> <li>3. 疾病の歴史や概念を理解するとともに、医療人の一員として、今後の課題を考えることができる。</li> <li>4. 他の専門職との関連性についての理解を深め、チームアプローチの重要性を感じることができる。</li> <li>5. 病因・病態に関連する深い理解を助けるための、基礎的な知識を得ることができる。</li> </ol>							
授業スケジュール							
回数	内容				場所	担当	
1	病理学の概要、病因論				HR教室	達家	
2	組織の構築と退行性病変、進行性病変				HR教室	達家	
3	代謝異常(1)				HR教室	達家	
4	代謝異常(2)				HR教室	達家	
5	循環障害(1)				HR教室	達家	
6	先天異常、奇形				HR教室	達家	
7	創傷治癒				HR教室	達家	
8	循環障害(2)				HR教室	達家	
9	免疫(1)				HR教室	達家	
10	免疫(2)				HR教室	達家	
11	炎症、感染症				HR教室	達家	
12	放射線障害				HR教室	達家	
13	腫瘍(1)				HR教室	達家	
14	腫瘍(2)				HR教室	達家	
15	老化、死				HR教室	達家	
成績評価方法							
期末試験 50% 授業への参加 30% レポート 20%							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
病理学(標準理学療法学・作業療法学)第5版		奈良勲/鎌倉矩子 監修		医学書院		978-4-260-04986-3	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
はじめの一步のイラスト病理学		深山正久 編		羊土社		978-4-7581-2085-2	
カラーで学べる病理学		渡辺照男 編		ヌーヴェルヒロカワ		978-4-8617-4075-6	
解剖生理学 人体の構造と機能(1)		林正健二		メディカ出版		978-4-8404-5374-5	
なるほどなっとく!病理学		小林正伸		南山堂		978-4-525-15162-1	
履修上の注意点							
教科書の内容に沿って進めますが、板書をしますので必ずノートはつけて下さい。授業出欠にかかわらず全ての課題は提出して下さい。出席日数の足りない学生は期末試験の受験を認めないので注意してください。オンデマンド受講を指示された際には、期限内までに動画視聴を確認したものについて出席とします。							
教員よりメッセージ							
定期試験の受験は、全ての課題プリントの提出が前提ですので、必ず、毎週出される課題プリントは教科書や参考図書などを活用して自分で解き、授業内容の復習に心がけて下さい。							

授業科目	臨床心理学			講義形式	講義	科目コード	P211
担当教員	河原 剛(臨床心理士としての実務経験あり)					科目区分	必修
開講時期	2年・後期	曜日・時限	水・1	授業回数	15回	単位数	2単位
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
臨床心理学の多岐にわたる領域を展望するための基礎的な知識を概説する。また、カウンセリングの基本的な事項について、架空事例を織り交ぜながら紹介する。							
この授業の到達目標							
①臨床心理学について理解し、臨床現場で必要な知識を習得する ②対人援助に役立つ、心についての理論的枠組みや技術を会得する							
授業スケジュール							
回数	内容					場所	担当
1	オリエンテーション(臨床心理学とは?)					HR教室	河原
2	臨床心理学の歴史と役割					HR教室	河原
3	異常心理学と心理アセスメント(1)					HR教室	河原
4	異常心理学と心理アセスメント(2)					HR教室	河原
5	異常心理学と心理アセスメント(3)					HR教室	河原
6	精神力動的心理療法					HR教室	河原
7	ヒューマニスティックアプローチ(1)					HR教室	河原
8	ヒューマニスティックアプローチ(2)					HR教室	河原
9	認知行動療法(1)					HR教室	河原
10	認知行動療法(2)					HR教室	河原
11	カウンセリングの実際(1)					HR教室	河原
12	カウンセリングの実際(2)					HR教室	河原
13	臨床心理学の研究					HR教室	河原
14	臨床心理学を対人援助に活かす(1)					HR教室	河原
15	臨床心理学を対人援助に活かす(2)					HR教室	河原
成績評価方法							
期末試験:60%。出席:40% 出席が3分の2を満たさない場合、不可。							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
履修上の注意点							
講義で配布する資料や文章等をインターネット上に公開することを禁止する。							
教員よりメッセージ							
予習は不要。授業中は教員の言葉を一字一句メモする必要はなく、話を聞くことや内容について考えを深めることに集中する。日常生活の中で、講義中に学んだことを他者と議論することが望ましい。 オフィスアワー:水曜日12時~14時 連絡先:t26a_ur02ki@hotmail.com							

授業科目	神経内科学			講義形式	講義	科目コード	P212
担当教員	伊藤 祥史(理学療法士として医療機関にて実務経験あり)					科目区分	必修
開講時期	2年・前期	曜日・時限	月・2	授業回数	15回	単位数	4単位(通年)
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
神経学の基礎的事項(解剖、生理など)および神経疾患の原因・診断・検査・治療などにつき概説します。							
この授業の到達目標							
神経学の基礎的事項および神経疾患の原因・症候・治療について学習し、理学療法士国家試験に対応できる知識を習得することを目標とします。							
授業スケジュール							
回数	内容				場所	担当	
1	中枢神経の解剖と機能				HR教室	伊藤	
2	神経学的診断と評価				HR教室	伊藤	
3	神経学的検査法				HR教室	伊藤	
4	意識障害、脳死、植物状態				HR教室	伊藤	
5	頭痛、めまい、失神				HR教室	伊藤	
6	運動麻痺、錐体路徴候、筋萎縮				HR教室	伊藤	
7	錐体外路徴候、不随意運動				HR教室	伊藤	
8	運動失調				HR教室	伊藤	
9	感覚障害				HR教室	伊藤	
10	高次脳機能障害:失語症				HR教室	伊藤	
11	高次脳機能障害:失認				HR教室	伊藤	
12	高次脳機能障害:失行				HR教室	伊藤	
13	高次脳機能障害:記憶障害				HR教室	伊藤	
14	高次脳機能障害:注意障害				HR教室	伊藤	
15	高次脳機能障害:遂行(実行)機能障害				HR教室	伊藤	
成績評価方法							
<p>期末試験70%、課題30%  ⇒変更する場合がありますので、今後の連絡にご注意ください。</p>							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社	ISBNコード		
標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 神経内科学				医学書院	978-4-260-03817-1		
参考書							
書名		著者		出版社	ISBNコード		
基礎から学ぶ神経内科学ノート				医歯薬出版	978-4-263-26578-9		
病気がみえる Vol.7脳・神経				メディックメディア	978-4-89632-686-4		
履修上の注意点							
わからないことは後回しにせず、早めに解決できるよう質問してください。							
教員よりメッセージ							
膨大な学習内容を短期間で習得することはたいへんな労力を要しますが、日々の予習復習を積み重ねていくことで着実に目標へ近づきます。勉強は無理のないよう継続してください。							

授業科目	神経内科学			講義形式	講義	科目コード	P212
担当教員	伊藤 祥史(理学療法士として医療機関にて実務経験あり)					科目区分	必修
開講時期	2年・後期	曜日・時限	月・4	授業回数	15回	単位数	4単位(通年)
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
神経学の基礎的事項(解剖、生理など)および神経疾患の原因・診断・検査・治療などにつき概説します。							
この授業の到達目標							
神経学の基礎的事項および神経疾患の原因・症候・治療について学習し、理学療法士国家試験に対応できる知識を習得することを目標とします。							
授業スケジュール							
回数	内容					場所	担当
1	構音障害					HR教室	伊藤
2	嚥下障害					HR教室	伊藤
3	脳神経外科領域の疾患					HR教室	伊藤
4	脳血管障害					HR教室	伊藤
5	認知症					HR教室	伊藤
6	脳腫瘍					HR教室	伊藤
7	外傷性脳損傷(軸索障害を含む)					HR教室	伊藤
8	変性疾患(錐体外路系を除く)、脱髄疾患					HR教室	伊藤
9	錐体外路の変性疾患					HR教室	伊藤
10	末梢神経障害					HR教室	伊藤
11	てんかん					HR教室	伊藤
12	筋疾患					HR教室	伊藤
13	感染性疾患					HR教室	伊藤
14	中毒性疾患、栄養欠乏による神経疾患					HR教室	伊藤
15	廃用症候群と誤用症候群、合併症					HR教室	伊藤
成績評価方法							
<p>期末試験70%、課題30%          ⇒変更する場合がありますので、今後の連絡にご注意ください。</p>							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 神経内科学				医学書院		978-4-260-03817-1	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
基礎から学ぶ神経内科学ノート				医歯薬出版		978-4-263-26578-9	
病気がみえる Vol.7脳・神経				メディックメディア		978-4-89632-686-4	
履修上の注意点							
わからないことは後回しにせず、早めに解決できるよう質問してください。							
教員よりメッセージ							
膨大な学習内容を短期間で習得することはたいへんな労力を要しますが、日々の予習復習を積み重ねていくことで着実に目標へ近づきます。勉強は無理のないよう継続してください。							



授業科目	一般臨床医学			講義形式	講義	科目コード	P213
担当教員	柘植雅貴・高橋祥一・中光篤志(医師として医療機関にて実務経験あり) 太田光洋・平岡一志					科目区分	必修
開講時期	2年・前期	曜日・時限	不定期	授業回数	15回	単位数	4単位(通年)
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
この授業では各診療科の医師など医療の最前線で活躍している専門職をお招きし、オムニバス形式で各専門分野の医学的基礎知識・代表的な疾患の疾患概念・診断・治療について学びます。また、治療の実際を知り、医療職の視座を学びます。							
この授業の到達目標							
①各器官の解剖と生理について理解を深める。 ②疾患の診断・治療の背景となる病因とそれに伴う形態学的変化、機能障害について理解する。 ③各疾患の治療の実際について知ることができる。							
授業スケジュール							
回数	内容					場所	担当
1	オリエンテーション					HR教室	平岡
2	一般臨床医学総論:臨床医学とは何か					HR教室	柘植
3	症候学・診断学					HR教室	柘植
4	消化管の解剖と生理					HR教室	柘植
5	肝臓・胆嚢・膵臓の解剖と生理					HR教室	高橋祥
6	消化管疾患の疾患概念・診断・治療					HR教室	柘植
7	医学概論・消化器系のまとめ					HR教室	柘植
8	消化器疾患の外科的治療について					HR教室	中光
9	内分泌系・代謝系の解剖と生理					HR教室	太田
10	内分泌系・代謝系疾患の疾患概念・診断・治療					HR教室	太田
11	肝胆膵疾患の疾患概念・診断・治療					HR教室	高橋祥
12	循環器系の解剖と生理					HR教室	太田
13	循環器疾患の疾患概念・診断・治療					HR教室	太田
14	内分泌系・代謝系・循環器系のまとめ					HR教室	太田
15	まとめ					HR教室	平岡
成績評価方法							
課題提出 30% 期末試験 70%							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
標準理学療法学作業療法学 内科学		前田眞治:他		医学書院		978-4-260-04290-1	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
履修上の注意点							
講師の先生の都合により、授業日程が変更となることがありますので、掲示などの案内をよく確認してください。授業後は必ずテキストなどを見直して知識の補完をしてください。							
教員よりメッセージ							
第一線の現場で働かれている医師の先生方の話を聞くことができる貴重な機会です。将来協働することとなる医師の先生方の病気や病いに対する捉え方や考え方に興味・関心を持って聴講しましょう。							

授業科目	一般臨床医学			講義形式	講義	科目コード	P213
担当教員	柘植雅貴・杉山文・三隅啓三・下村壮司・杉本智裕・平元奈津子・柿音高・二井宏紀(医師として医療機関にて実務経験あり)、渡邊啓太・平岡一志・太田光洋					科目区分	必修
開講時期	2年・後期	曜日・時限	水・5	授業回数	15回	単位数	4単位(通年)
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
この授業では各診療科の医師など医療の最前線で活躍している専門職をお招きし、オムニバス形式で各専門分野の医学的基礎知識・代表的な疾患の疾患概念・診断・治療について学びます。また、治療の実際を知り、医療職の視座を学びます。							
この授業の到達目標							
①各器官の解剖と生理について理解を深める。 ②疾患の診断・治療の背景となる病因とそれに伴う形態学的変化、機能障害について理解する。 ③各疾患の治療の実際について知ることができる。							
授業スケジュール							
回数	内容					場所	担当
1	呼吸器の解剖と生理					HR教室	杉山
2	呼吸器疾患の疾患概念・診断・治療					HR教室	杉山
3	呼吸器疾患の外科的治療について					HR教室	三隅
4	感染症とその対策について					HR教室	太田
5	呼吸器疾患・感染症のまとめ					HR教室	平岡
6	血液・造血器疾患について					HR教室	下村
7	腎・泌尿器疾患について					HR教室	太田
8	眼科分野の疾患について					HR教室	二井
9	アレルギー疾患、膠原病と類縁疾患について					HR教室	杉本
10	ウィメンズヘルス分野のリハビリテーションについて					HR教室	平元
11	皮膚科領域の疾患について					HR教室	平岡
12	悪性腫瘍について					HR教室	柘植
13	耳鼻咽喉科分野の疾患について					HR教室	柿
14	がんのリハビリテーションについて					HR教室	渡邊
15	まとめ					HR教室	平岡
成績評価方法							
課題 30% 期末試験 70%							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
標準理学療法学作業療法学 内科学		前田眞治:他		医学書院		978-4-260-04290-1	
PT・OT・STのための一般臨床医学第3版		椿原彰夫:他		医歯薬出版			
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
履修上の注意点							
講師の先生の都合により、授業日程が変更となることがありますので、掲示などの案内をよく確認してください。授業後は必ずテキストなどを見直して知識の補完をしてください。							
教員よりメッセージ							
第一線の現場で働かれている医師の先生方の話を聞くことができる貴重な機会です。将来協働することとなる医師の先生方の病気や病いに対する捉え方や考え方に興味・関心を持って聴講しましょう。							

授業科目	整形外科学			講義形式	講義	科目コード	P215
担当教員	村上恒二・寺元秀文・笹重善朗(医師として医療機関にて実務経験あり) 太田光洋					科目区分	必修
開講時期	2年・前期	曜日・時限	不定期	授業回数	15回	単位数	4単位(通年)
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
「整形外科学」は、運動器(体幹・四肢)の疾患を扱う学問です。当授業では、その基礎を学び、多様な病態を理解していただきます。また、多職種の立場から、各種疾患の考え方、取り組み方について解説します。							
この授業の到達目標							
「整形外科学」は運動器(体幹・四肢)の疾患を扱う学問です。その基礎を学び、多様な病態を理解することによって、国家試験に対応できる学力を培うとともに、理学療法および作業療法を実践するのに必要な基本知識を身につけることを目標とします。							
授業スケジュール							
回数	内容				場所	担当	
1	オリエンテーション				HR教室	太田	
2	治療総論①				HR教室	寺元	
3	治療総論②				HR教室	寺元	
4	外傷整形外科①				HR教室	寺元	
5	外傷整形外科②				HR教室	寺元	
6	脆弱性骨折				HR教室	寺元	
7	手術アプローチ				HR教室	寺元	
8	ロコモティブシンドローム				HR教室	寺元	
9	スポーツと膝関節				HR教室	笹重	
10	トップアスリートのスポーツ障害と治療				HR教室	村上	
11	発育期のスポーツ障害と治療				HR教室	村上	
12	成人期のスポーツ障害と治療				HR教室	村上	
13	整形外科の基礎科学(骨)				HR教室	太田	
14	整形外科の基礎科学(関節)				HR教室	太田	
15	まとめ				HR教室	太田	
成績評価方法							
期末試験 80% 出席・授業態度 20%							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
標準整形外科学		井樋栄二 他		医学書院		9784260038805	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
履修上の注意点							
出席日数の足りない学生は期末試験の受験を認めないので注意してください。オンデマンド受講を指示された際には、期限までに動画を視聴し課題を提出したものについて出席とします。							
教員よりメッセージ							
臨床での経験が豊富な先生方のオムニバスでの講義となります。 集中して講義を受け、今後の実習、臨床に結びつけてください。 必ずメモを取ってください。							

授業科目	整形外科学			講義形式	講義	科目コード	P215
担当教員	菊地 剛(医師として医療機関にて実務経験あり) 太田 光洋				科目区分	必修	
開講時期	2年・後期	曜日・時限	不定期	授業回数	15回	単位数	4単位(通年)
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
「整形外科学」は、運動器(体幹・四肢)の疾患を扱う学問です。当授業では、その基礎を学び、多様な病態を理解していただきます。また、多職種の立場から、各種疾患の考え方、取り組み方について解説します。							
この授業の到達目標							
「整形外科学」は運動器(体幹・四肢)の疾患を扱う学問です。その基礎を学び、多様な病態を理解することによって、国家試験に対応できる学力を培うとともに、理学療法および作業療法を実践するのに必要な基本知識を身につけることを目標とします。							
授業スケジュール							
回数	内容				場所	担当	
1	肩関節				HR教室	太田	
2	肘関節				HR教室	太田	
3	手関節と手				HR教室	太田	
4	頸椎・胸椎				HR教室	菊地	
5	胸椎・腰椎				HR教室	菊地	
6	股関節				HR教室	沖	
7	膝関節				HR教室	沖	
8	足関節と足				HR教室	沖	
9	外傷総論・軟部組織損傷				HR教室	太田	
10	骨折・脱臼				HR教室	太田	
11	脊椎・脊髄損傷				HR教室	菊地	
12	末梢神経損傷				HR教室	太田	
13	スポーツ損傷				HR教室	太田	
14	まとめ				HR教室	太田	
15	まとめ				HR教室	太田	
成績評価方法							
期末試験 80% 出席・授業態度 20%							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
標準整形外科学		井樋栄二 他		医学書院		9784260038805	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
履修上の注意点							
出席日数の足りない学生は期末試験の受験を認めないので注意してください。オンデマンド受講を指示された際には、期限までに動画を視聴し課題を提出したものについて出席とします。							
教員よりメッセージ							
日々の自己学習、グループ内の貢献が成績に直結します。課題を提示しますので、毎回の授業までに各々学習を進めてください。							

授業科目	リハビリテーション医学			講義形式	講義	科目コード	P218
担当教員	杉原勝宣(医師として医療機関にて実務経験あり) 清水ミシェルアイズマン・森田憲吾・田中幸子・関川清一・坂口暁洋・今田雄二郎・平岡一志				科目区分	必修	
開講時期	3年・前期	曜日・時限	不定期	授業回数	15回	単位数	2単位
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
リハビリテーション医療の対象となる脳卒中、脊髄損傷・内部障害・スポーツ医学などの講義を通して、リハビリテーション医学の基礎知識を学ぶ。この授業では、それぞれの専門の先生方に、リハビリテーション医学の視点を学ぶ。							
この授業の到達目標							
リハビリテーション医学の対象となる疾患、障害の基本的知識を理解する。 理学療法士・作業療法士がどのように取り組んできたかを理解する。							
授業スケジュール							
回数	内容				場所	担当	
1	オリエンテーション				HR教室	平岡	
2	リハビリテーション医学総論1				HR教室	杉原	
3	リハビリテーション医学総論2				HR教室	杉原	
4	小児疾患に対するリハビリテーションについて1				HR教室	田中	
5	小児疾患に対するリハビリテーションについて2				HR教室	田中	
6	内部障害に対するリハビリテーションについて1				HR教室	関川	
7	内部障害に対するリハビリテーションについて2				HR教室	関川	
8	スポーツ領域のリハビリテーションについて1				HR教室	森田	
9	スポーツ領域のリハビリテーションについて2				HR教室	森田	
10	脳性まひ者に対するリハビリテーションについて1				HR教室	清水	
11	脳性まひ者に対するリハビリテーションについて2				HR教室	清水	
12	リハビリテーションにおける評価の意味について1				HR教室	今田	
13	リハビリテーションにおける評価の意味について2				HR教室	今田	
14	災害時のリハビリテーションについて1				HR教室	坂口	
15	在宅におけるリハビリテーションについて2・まとめ				HR教室	坂口・平岡	
成績評価方法							
レポート 100%:講義ごとにレポートの作成を求めます。成績判定は、提出されたレポートの平均点により行います。期日までに提出のない場合は0点とします。受験資格を満たしていない場合は評価の対象としません。							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
なし							
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
履修上の注意点							
日程の詳細は別にお知らせします。講師の都合により日程変更のある場合には掲示板等でお知らせします。							
教員よりメッセージ							
講義いただくのは各専門分野の最前線で活躍されている先生方です。理学療法士にとって、とても重要な内容をご講義頂きます。授業の内容をよく聞いて、しっかり理解してください。わからないことは、すぐ聞いてください。							

授業科目	精神医学			講義形式	講義	科目コード	P220
担当教員	藤田康孝・中津啓吾・高橋雪輝(医師として医療機関にて実務経験あり) 柳井亮太・岡崎智行・桑本康生・北野千絵・浅岡 聡・吉川李奈					科目区分	必修
開講時期	2年・前期	曜日・時限	木・2	授業回数	15回	単位数	4単位(通年)
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
精神医学とは何かを理解し、様々な精神疾患の特徴や治療法について理解する。							
この授業の到達目標							
精神機能とその異常、精神発達、精神医学的診察と診断、精神治療学について理解する。 統合失調症、気分障害、ストレス関連疾患、認知症など各種精神疾患の概念、病因、症状、治療について理解する。							
授業スケジュール							
回数	内容					場所	担当
1	精神医学とは					HR教室	藤田Dr
2	精神障害の成因と分類・診断と評価					HR教室	高橋Dr
3	精神機能の障害と精神症状					HR教室	中津Dr
4	精神障害の診断と評価(心理検査)					HR教室	浅岡CP
5	ここまでの復習(国試対策)					HR教室	吉川
6	脳器質性精神障害(1)					HR教室	高橋Dr
7	脳器質性精神障害(2)					HR教室	北野OTR
8	症状性精神障害					HR教室	中津Dr
9	統合失調症(1)					HR教室	岡崎OTR
10	統合失調症(2)(3)					HR教室	柳井Ns
11	ここまでの復習(国試対策)					HR教室	吉川
12	気分障害(1)					HR教室	浅岡CP
13	気分障害(2)(3)					HR教室	桑本Ns
14	てんかん					HR教室	藤田Dr
15	ここまでの復習(国試対策)					HR教室	吉川
成績評価方法							
前期及び後期各1回 計2回のテスト実施(テスト80% レポート20%) ※80%のテスト配分で、60%の得点率を満たさなければ、レポートを提出してもらう。							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
標準理学療法学・作業療法学 精神医学 第4版増補版		上野 武治		医学書院		9784260044769	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
履修上の注意点							
授業中の私語及び携帯電話、スマートフォン、ゲーム機を含む携帯機器の使用は禁じます。また、板書をカメラ及びカメラ機能で撮影することも禁じます。							
教員よりメッセージ							
授業を真面目に聴講することが最も効率的な勉強法です。授業中重要点を指摘しますので重点的に記憶しておきましょう。将来、対象者の気持ちに寄り添うことのできるセラピストになるためにも、精神医学の理解をおろそかにしてはいけません。わからないことがあれば、授業の中で遠慮なく質問してください。国家試験においても臨床医学の中で出題数の多い分野です。							

授業科目	精神医学			講義形式	講義	科目コード	P220
担当教員	藤田康孝・中津啓吾・高橋雪輝(医師として医療機関にて実務経験あり) 桑本康生・岡崎智行・土師裕子・浅岡聡・漆谷紗耶・吉川李奈					科目区分	必修
開講時期	2年・後期	曜日・時限	木・2	授業回数	15回	単位数	4単位(通年)
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
精神医学とは何かを理解し、様々な精神疾患の特徴や治療法について理解する。							
この授業の到達目標							
精神機能とその異常、精神発達、精神医学的診察と診断、精神治療学について理解する。 統合失調症、気分障害、ストレス関連疾患、認知症など各種精神疾患の概念、病因、症状、治療について理解する。							
授業スケジュール							
回数	内容				場所	担当	
16	精神作用物質による精神及び行動の障害(1)				HR教室	岡崎OTR	
17	神経症性障害(1)(2)				HR教室	浅岡CP	
18	生理的障害及び身体的要因に関連した障害				HR教室	藤田Dr	
19	精神作用物質による精神及び行動の障害(2)				HR教室	高橋Dr	
20	コンサルテーション・リエゾン精神医学・ここまでの復習				HR教室	吉川	
21	精神遅滞 心理的発達の障害				HR教室	漆谷CP	
22	成人のパーソナリティ・行動・性の障害				HR教室	中津Dr	
23	心身医学 ライフサイクルにおける精神医学				HR教室	高橋Dr	
24	精神科看護				HR教室	桑本Ns	
25	福祉と職業リハビリテーション・ここまでの復習				HR教室	吉川	
26	リハビリテーション・作業療法				HR教室	岡崎OTR	
27	リハビリテーション・心理療法				HR教室	浅岡CP	
28	精神科保健医療				HR教室	土師PSW	
29	社会・文化とメンタルヘルス				HR教室	藤田Dr	
30	ここまでの復習				HR教室	吉川	
成績評価方法							
前期及び後期各1回 計2回のテスト実施 (テスト80% レポート20%) ※80%のテスト配分で、60%の得点率を満たさなければ、レポートを提出してもらう。							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
標準理学療法学・作業療法学 精神医学 第4版増補版		上野 武治		医学書院		9784260044769	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
履修上の注意点							
授業中の私語及び携帯電話、スマートフォン、ゲーム機を含む携帯機器の使用は禁じます。また、板書をカメラ及びビデオ機能で撮影することも禁じます。							
教員よりメッセージ							
授業を真面目に聴講することが最も効率的勉強法です。授業中重要点を指摘しますので重点的に記憶しておきましょう。将来、対象者の気持ちに寄り添うことのできるセラピストになるためにも、精神医学の理解をおろそかにしてはいけません。わからないことがあれば、授業の中で遠慮なく質問してください。国家試験においても臨床医学の中で出題数の多い分野です。							





授業科目	栄養学			講義形式	講義	科目コード	P222
担当教員	太田 光洋、安部 宏美(医師として医療機関にて実務経験あり)					科目区分	必修
開講時期	2年・後期	曜日・時限	木・3	授業回数	8回	単位数	1単位
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
リハビリテーションの基礎となる運動や筋肥大に必要な栄養について学び、栄養面から見た運動処方を検討できるようになることを目的とする。							
この授業の到達目標							
1.人が生きていく上で必要な栄養を理解し、自分自身がどの程度栄養を摂取しているのかを自覚する 2.リハビリと栄養の関連性の理解し、考察できるようになる 3.栄養状態の評価と運動処方について理解する							
授業スケジュール							
回数	内容					場所	担当
1	オリエンテーション					HR教室	太田
2	栄養の基礎①					HR教室	阿部
3	栄養の基礎②					HR教室	阿部
4	低栄養とリハビリテーション					HR教室	太田
5	主な病態の栄養療法(フレイル・サルコペニア)					HR教室	太田
6	主な病態の栄養療法(ロコモティブシンドローム・メタボリックシンドローム)					HR教室	太田
7	栄養の評価					HR教室	太田
8	栄養リハビリテーション					HR教室	太田
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
成績評価方法							
レポート 80% 授業への参加 20%							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
リハビリテーションに役立つ 栄養学の基礎		栢下 淳		医歯薬出版		978-4-263-26553-6	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
リハベーシック 生化学・栄養学		内山 靖		医歯薬出版		978-4-263-26752-3	
履修上の注意点							
レポート提出期限は厳守して下さい。 オンデマンド受講を指示された際には、期限まで動画を視聴し課題を提出したものについて出席とします。							
教員よりメッセージ							
リハビリテーションに必要な運動と栄養は密接に関わり合っています。栄養学を学ぶことで筋肥大や減量をするための運動や栄養がどの程度必要なのか、どのように処方するのか理解していきましょう。							





授業科目	臨床運動学			講義形式	講義・実技	科目コード	P302
担当教員	岩田隆士、大原将平、平岡一志(理学療法士として医療機関にて実務経験あり)					科目区分	必修
開講時期	3年・前期	曜日・時限	木・2	授業回数	15回	単位数	2単位
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
姿勢・動作観察および分析の方法について講義する。姿勢・動作観察および分析は患者様の動作障害の原因を分析し、治療戦略を立案する一連の臨床意思決定を行うためのプロセスの一部である。このプロセスを理解するために、起居動作・起立着座動作、歩行動作の「正常」を学び、患者様の動作分析の練習を行っていく。							
この授業の到達目標							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・姿勢観察の方法を理解する</li> <li>・動作観察および動作分析について理解する</li> <li>・運動学習について理解する</li> </ul>							
授業スケジュール							
回数	内容					場所	担当
1	オリエンテーション・姿勢観察や動作分析に必要な基本的用語の理解					HR教室	大原・岩田
2	姿勢観察や動作分析のデモンストレーション・実践					実習室	大原・岩田
3	寝返り・起き上がり動作の基礎知識および動作実践					実習室	大原・岩田
4	寝返り・起き上がり動作の観察方法および分析方法					実習室	大原・岩田
5	起立動作と着座動作の基本と観察方法					実習室	大原・岩田
6	起立動作と着座動作の動作分析					実習室	大原・岩田
7	脳卒中患者の寝返り・起き上がり動作の動作分析の実践					実習室	大原・岩田
8	脳卒中患者の移乗・起立・着座動作の動作分析の実践					実習室	大原・岩田
9	疼痛を要する患者の動作パターン観察					実習室	大原・岩田
10	動作観察・分析における用語、表現方法の指導・学生デモンストレーション					実習室	大原・岩田
11	歩行動作の基本的動作用語の確認と正常歩行について					実習室	大原・岩田
12	歩行の正常歩行・異常歩行の観察方法および評価方法について					HR教室	大原・岩田
13	歩行の正常歩行の観察方法について(実践)					HR教室	大原・岩田
14	正常歩行の動作分析の方法について(実践)					HR教室	大原・岩田
15	運動学習					HR教室	平岡
成績評価方法							
提出物(課題・レポート) 80% 授業への参加 20%							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
動作分析 臨床活用講座 バイオメカニクスに基づく臨推論の実践		石井 慎一郎		メジカルビュー社		978-4-7583-1474-9	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
履修上の注意点							
オンデマンド受講を指示された際には、期限までに動画を視聴し課題を提出したものについて出席とします。また、授業は外部講師と日程調整を行うため、授業の予定が前後する事があります。出席日数が足りない場合は成績判定が出来ませんのでご注意ください。							
教員よりメッセージ							
姿勢や動作を観ることは、実際の臨床に出てPDCAサイクル「Plan=計画」「Do=実行」「Check=評価」「Action=改善」を行う時の中核となります。理学療法士にとっては非常に重要な学問なので、しっかりと学び、理解を深めましょう。また、授業においては実技を行う事が多いため、動きやすい服装で受講するように心がけてください。もし、授業中にわからない事があれば、随時質問して下さい。							

授業科目	基礎運動療法学			講義形式	講義	科目コード	P303
担当教員	榎 重治(理学療法士として医療機関にて実務経験あり)					科目区分	必修
開講時期	2年・前期	曜日・時限	金・4	授業回数	15回	単位数	4単位(通年)
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
理学療法の治療技術である運動療法の基本的知識および各種運動療法手技の概要について学ぶ。							
この授業の到達目標							
1. 運動療法の定義・目的・対象について理解できる。 2. 基本的な運動療法が理解できる。							
授業スケジュール							
回数	内容				場所	担当	
1	運動療法の基礎・リスク管理				HR教室	榎	
2	コンディショニング(全身調整)のための手段①				HR教室	榎	
3	コンディショニング(全身調整)のための手段②				HR教室・実習室	榎	
4	関節可動域制限に対する運動療法①				HR教室	榎	
5	関節可動域制限に対する運動療法②				HR教室・実習室	榎	
6	関節可動域制限に対する運動療法③				HR教室・実習室	榎	
7	関節可動域制限に対する運動療法④				HR教室・実習室	榎	
8	筋機能障害に対する運動療法①				HR教室	榎	
9	筋機能障害に対する運動療法②				HR教室・実習室	榎	
10	筋機能障害に対する運動療法③				HR教室・実習室	榎	
11	筋機能障害に対する運動療法④				HR教室・実習室	榎	
12	協調運動障害(運動失調とバランス機能障害)に対する運動療法①				HR教室	榎	
13	協調運動障害(運動失調とバランス機能障害)に対する運動療法②				HR教室・実習室	榎	
14	協調運動障害(運動失調とバランス機能障害)に対する運動療法③				HR教室・実習室	榎	
15	まとめ				HR教室	榎	
成績評価方法							
期末試験 80% 出席 20%							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
15レクチャーシリーズ 理学療法テキスト 運動療法学		解良武士・玉木彰		中山書店		978-4-521-73671-6	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
履修上の注意点							
出席日数の足りない学生は期末試験の受験を認めないので注意してください。 オンデマンド受講を指示された際には、期限までに動画を視聴し課題を提出したのについて出席とします。							
教員よりメッセージ							
解剖学、生理学、運動学の基礎知識が必要です。 各自復習し、理解を深めてください。							

授業科目	基礎運動療法学			講義形式	講義	科目コード	P303
担当教員	榎 重治(理学療法士として医療機関にて実務経験あり)					科目区分	必修
開講時期	2年・後期	曜日・時限	金・3	授業回数	15回	単位数	4単位(通年)
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
理学療法の治療技術である運動療法の基本的知識および各種運動療法手技の概要について学ぶ。							
この授業の到達目標							
1. 運動療法の定義・目的・対象について理解できる。 2. 基本的な運動療法が理解できる。							
授業スケジュール							
回数	内容					場所	担当
1	基本動作能力・歩行能力再獲得のための運動療法①					HR教室	榎
2	基本動作能力・歩行能力再獲得のための運動療法②					HR教室・実習室	榎
3	基本動作能力・歩行能力再獲得のための運動療法③					HR教室・実習室	榎
4	全身持久力改善のための運動療法①					HR教室	榎
5	全身持久力改善のための運動療法②					HR教室・実習室	榎
6	感覚障害に対する運動療法					HR教室	榎
7	がん患者の運動療法(1)－がん総論および周術期					HR教室	榎
8	がん患者の運動療法(2)－放射線療法と化学療法, 緩和ケア					HR教室	榎
9	腎機能障害者の運動療法					HR教室	榎
10	熱傷患者の運動療法					HR教室	榎
11	産科領域における腰痛と尿失禁に対する運動療法					HR教室	榎
12	高齢者の運動療法①					HR教室	榎
13	高齢者の運動療法②					HR教室・実習室	榎
14	健康増進のための運動療法					HR教室	榎
15	まとめ					HR教室	榎
成績評価方法							
期末試験 50% 中間試験30% 出席 20%							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
15レクチャーシリーズ 理学療法テキスト 運動療法学		解良武士・玉木彰		中山書店		978-4-521-73671-6	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
履修上の注意点							
出席日数の足りない学生は期末試験の受験を認めないので注意してください。 オンデマンド受講を指示された際には、期限までに動画を視聴し課題を提出したのについて出席とします。							
教員よりメッセージ							
解剖学、生理学、運動学の基礎知識が必要です。 各自復習し、理解を深めてください。							



授業科目	理学療法評価学 I			講義形式	講義・実技	科目コード	P307
担当教員	廣江 健人 藤原 冬美(理学療法士として医療機関にて実務経験あり)					科目区分	必修
開講時期	2年・前期	曜日・時限	月-3・4	授業回数	30回	単位数	4単位
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
理学療法における評価の位置づけ及び基本概念などについて説明する。ついで、反射検査、徒手筋力検査法、感覚検査などを中心に学習し、それらの理解を深める。これらを行う上で必要な解剖・生理についても解説し、検査・測定の目的と意義についても触れる。							
この授業の到達目標							
理学療法に必要な評価の意義、各検査項目の目的・方法等を理解し、臨床の場面で実施可能となる。							
授業スケジュール							
回数	内容					場所	担当
1	理学療法評価の意義・目的・視点・構成要素・流れ・記録について					実習室	廣江、藤原
2	深部腱反射					実習室	廣江、藤原
3	深部腱反射					実習室	廣江、藤原
4	深部腱反射					実習室	廣江、藤原
5	表在反射・病的反射					実習室	廣江、藤原
6	表在反射・病的反射					実習室	廣江、藤原
7	筋緊張検査					実習室	廣江、藤原
8	感覚検査					実習室	廣江、藤原
9	感覚検査					実習室	廣江、藤原
10	感覚検査					実習室	廣江、藤原
11	徒手筋力検査法					実習室	廣江、藤原
12	徒手筋力検査法					実習室	廣江、藤原
13	徒手筋力検査法					実習室	廣江、藤原
14	徒手筋力検査法					実習室	廣江、藤原
15	その他検査・評価、まとめ					実習室	廣江、藤原
成績評価方法							
実技試験、筆記試験、レポート・課題を総合して評価する。 (期末に実施する実技・筆記試験が90%)							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
理学療法評価学		松澤正・江口勝彦		金原出版株式会社		978-4-307-75054-7	
新・徒手筋力検査法		津山直一		協同医書出版社		978-4-7639-0041-8	
ベッドサイドの神経の診かた		田崎義昭・斎藤佳雄		南山堂		978-4-525-24798-0	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
履修上の注意点							
原則として学校指定のジャージを着用してください。出席日数の足りない学生は期末試験の受験を認めないので注意してください。オンデマンド受講を指示された際には、期限までに動画を視聴し課題を提出したのについて出席とします。							
教員よりメッセージ							
理学療法治療のすべての基本となる授業であり、実習の授業の重要性を十分理解して、授業に臨むこと。臨床場面で障害・疾患を有する患者への適切な理学療法評価を施行するために必要な技術の修得を、障害を有しない対象で修得していく。 日頃から、学生同士で実習の練習を行うよう心掛けてください。							



授業科目	理学療法評価学Ⅱ			講義形式	講義・実技	科目コード	P308
担当教員	廣江 健人 藤原 冬美(理学療法士として医療機関にて実務経験あり)				科目区分	必修	
開講時期	2年・後期	曜日・時限	月-1・2	授業回数	30回	単位数	4単位
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
理学療法における評価の位置づけ及び基本概念などについて説明する。ついで、バランス検査、整形外科疾患検査、協調性検査、高次脳機能検査、片麻痺機能検査、疼痛検査などを中心に学習し、それらの理解を深める。これらを行う上で必要な解剖・生理についても解説し、検査・測定の目的と意義についても触れる。							
この授業の到達目標							
理学療法に必要な評価の意義、各検査項目の目的・方法等を理解し、臨床の場面で実施可能となる。							
授業スケジュール							
回数	内容				場所	担当	
1	見学実習を踏まえたうえでの、評価について				実習室	廣江、吉川	
2	バランス検査				実習室	廣江、吉川	
3	バランス検査				実習室	廣江、吉川	
4	バランス検査				実習室	廣江、吉川	
5	協調性検査				実習室	廣江、吉川	
6	協調性検査				実習室	廣江、吉川	
7	片麻痺機能検査				実習室	廣江、吉川	
8	片麻痺機能検査				実習室	廣江、吉川	
9	高次脳機能検査				実習室	廣江、吉川	
10	高次脳機能検査				実習室	廣江、吉川	
11	整形外科疾患検査				実習室	廣江、吉川	
12	整形外科疾患検査				実習室	廣江、吉川	
13	疼痛検査				実習室	廣江、吉川	
14	疼痛検査				実習室	廣江、吉川	
15	まとめ				実習室	廣江、吉川	
成績評価方法							
実技試験、筆記試験、レポート・課題を総合して評価する。 (期末に実施する実技・筆記試験が90%)							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社	ISBNコード		
理学療法評価学		松澤正・江口勝彦		金原出版株式会社	978-4-307-75054-7		
新・徒手筋力検査法		津山直一		協同医書出版社	978-4-7639-0041-8		
ベッドサイドの神経の診かた		田崎義昭・斎藤佳雄		南山堂	978-4-525-24798-0		
参考書							
書名		著者		出版社	ISBNコード		
履修上の注意点							
原則として学校指定のジャージを着用してください。出席日数の足りない学生は期末試験の受験を認めないので注意してください。オンデマンド受講を指示された際には、期限までに動画を視聴し課題を提出したものについて出席とします。							
教員よりメッセージ							
理学療法治療のすべての基本となる授業であり、実習の授業の重要性を十分理解して、授業に臨むこと。臨床場面で障害・疾患を有する患者への適切な理学療法評価を施行するために必要な技術の修得を、障害を有しない対象で修得していく。 日頃から、学生同士で実習の練習を行うよう心掛けてください。							

授業科目	中枢神経系治療学			講義形式	講義・実技	科目コード	P310
担当教員	平岡一志(理学療法士として医療機関にて実務経験あり)					科目区分	必修
開講時期	2年・前期	曜日・時限	金・2	授業回数	15回	単位数	4単位(通年)
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
この授業では理学療法士の診療対象となる中枢神経系疾患の理解を深めるために中枢神経系の構造と機能、代表的な中枢神経系疾患のうち脳卒中などの疾患概念とそれに伴う障害の構造、理学療法実施に際しての評価と治療について学んでいきましょう。							
この授業の到達目標							
①中枢神経系の構造と機能について理解を深める。 ②脳卒中などの疾患概念とそれに伴う障害の構造を理解する。 ③脳卒中片麻痺および失調の評価と治療について理解する。							
授業スケジュール							
回数	内容					場所	担当
1	脳卒中とはどんな病気なのか					HR教室	平岡
2	脳の動・静脈系と脳室系の解剖について					HR教室	平岡
3	神経系の概要と大脳皮質の解剖について					HR教室	平岡
4	脳の構造と脳画像について					HR教室	平岡
5	脳幹、神経路について					HR教室	平岡
6	運動と運動障害について					HR教室	平岡
7	感覚と感覚障害について					HR教室	平岡
8	脳神経について					HR教室	平岡
9	大脳辺縁系と大脳基底核について					HR教室	平岡
10	小脳について					HR教室	平岡
11	脳梗塞について					HR教室	平岡
12	脳出血について					HR教室	平岡
13	くも膜下出血・水頭症について					HR教室	平岡
14	脳腫瘍・頭部外傷・意識障害について					HR教室	平岡
15	脳損傷後の回復メカニズムについて					HR教室	平岡
成績評価方法							
各回の小テスト、期末試験、課題提出物などを総合的に評価する。 【配分】小テスト・提出物30% 期末試験70%							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
標準理学療法学 神経理学療法学第3版		森岡周ほか編		医学書院		978-4-260-04989-4	
病気がみえるvol.7 第2版		医療情報科学研究所編		メディックメディア		978-4896326864	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
履修上の注意点							
毎回重要なキーワードを提示して授業を行います。授業後はそのキーワードについて重点的に復習しましょう。翌週の小テストで振り返りをおこないます。							
教員よりメッセージ							
臨床に出て、うまくいわずに苦手意識となってしまうのがこの分野です。 一方で理学療法士が治療対象とする患者さんの多くは中枢神経疾患の患者さんでもあります。 用語や考え方は難しいところもありますが、復習をしっかりと行い、理解を深めましょう。							

授業科目	中枢神経系治療学			講義形式	講義・実技	科目コード	P310
担当教員	平岡一志・坂本隆徳(理学療法士として医療機関にて実務経験あり)				科目区分	必修	
開講時期	2年・後期	曜日・時限	金・2	授業回数	15回	単位数	4単位(通年)
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
この授業では理学療法士の診療対象となる中枢神経系疾患の理解を深めるために中枢神経系の構造と機能、代表的な中枢神経系疾患のうち脳卒中などの疾患概念とそれに伴う障害の構造、理学療法実施に際しての評価と治療について学んでいただきます。							
この授業の到達目標							
①中枢神経系の構造と機能について理解を深める。 ②脳卒中などの疾患概念とそれに伴う障害の構造を理解する。 ③脳卒中片麻痺および失調の評価と治療について理解する。							
授業スケジュール							
回数	内容				場所	担当	
1	脳卒中に対する総合評価・機能評価1				HR教室	平岡	
2	脳卒中に対する総合評価・機能評価2				実習室	平岡	
3	高次脳機能障害1(総論)				HR教室	平岡	
4	高次脳機能障害2(半側空間無視と失認)				HR教室	平岡	
5	高次脳機能障害3(失行)				HR教室	平岡	
6	高次脳機能障害4(言語障害)				HR教室	平岡	
7	脳卒中の痛みについて				HR教室	平岡	
8	脳卒中のリスク管理と合併症について				HR教室	平岡	
9	脳卒中の姿勢定位・バランス障害について				HR教室	平岡	
10	脳卒中の上肢機能障害について				HR教室	平岡	
11	脳卒中者の起居動作について				実習室	平岡	
12	脳卒中者の坐位・立ち上がりについて				実習室	平岡	
13	脳卒中者の歩行について				HR教室	平岡	
14	脳卒中の評価から理学療法施行まで(ケーススタディ)				HR教室	平岡	
15	脳卒中の理学療法の実際				HR教室	坂本	
成績評価方法							
各回の小テスト、期末試験、課題提出物などを総合的に評価する。 【配分】小テスト・提出物など30% 期末試験70%							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
標準理学療法学 神経理学療法学第3版		森岡周ほか編		医学書院		978-4-260-04989-4	
病気がみえるvol.7 第2版		医療情報科学研究所編		メディックメディア		978-4896326864	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
履修上の注意点							
毎回重要なキーワードを提示して授業を行います。授業後はそのキーワードについて重点的に復習しましょう。翌週の小テストで振り返りをおこないます。							
教員よりメッセージ							
臨床に出て、うまくいかずに苦手意識となってしまうのがこの分野です。 一方で理学療法士が治療対象とする患者さんの多くは中枢神経疾患の患者さんでもあります。 用語や考え方は難しいところもありますが、復習をしっかりと行い、理解を深めましょう。							

授業科目	運動器疾患治療学			講義形式	講義	科目コード	P311
担当教員	太田 光洋(理学療法士として医療機関にて実務経験あり)					科目区分	必修
開講時期	2年・前期	曜日・時限	水・3	授業回数	15回	単位数	4単位(通年)
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
整形外科疾患の基礎知識と運動療法に対する考え方とその方法について学ぶ。							
この授業の到達目標							
1. 運動器理学療法の流れについて理解できる。 2. 運動器理学療法評価の選択ができるようになる。 3. 運動器理学療法治療の基礎知識を理解し、選択・実践できるようになる。							
授業スケジュール							
回数	内容					場所	担当
1	オリエンテーション					実習室	太田
2	総論					HR教室	太田
3	運動器の基礎理論①					HR教室	太田
4	運動器の基礎理論②					実習室	太田
5	運動器の基礎理論③					実習室	太田
6	運動器理学療法の評価①					実習室	太田
7	まとめ					HR教室	太田
8	頸部・肩甲帯・上部脊椎の理学療法評価					実習室	太田
9	体幹・骨盤の理学療法評価					実習室	太田
10	下部脊椎・骨盤・下肢の理学療法評価					実習室	太田
11	運動器理学療法の治療①					実習室	太田
12	運動器理学療法の治療②					実習室	太田
13	運動器理学療法の治療③					実習室	太田
14	運動器理学療法の治療④					実習室	太田
15	まとめ					HR教室	太田
成績評価方法							
中間試験 40% 期末試験 50% 出席・授業態度・小テスト 10%							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
最新 理学療法学講座 運動器理学療法学		木藤 伸宏		医歯薬出版株式会社		978-4-263-26739-4	
標準整形外科学		井樋 英二		医学書院		978-4-260-04936-8	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
履修上の注意点							
出席日数の足りない学生は期末試験の受験を認めないので注意してください。 オンデマンド受講を指示された際には、期限までに動画を視聴し課題を提出したのについて出席とします。							
教員よりメッセージ							
運動器疾患は、理学療法士として関わることが多い領域です。実習でも多くの学生が運動器疾患の評価・治療を行うことがあるので、予習・復習をしながら学んでいきましょう。							

授業科目	運動器疾患治療学			講義形式	講義	科目コード	P311
担当教員	太田 光洋(理学療法士として医療機関にて実務経験あり)					科目区分	必修
開講時期	2年・後期	曜日・時限	金・4	授業回数	15回	単位数	4単位(通年)
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
整形外科疾患の基礎知識と運動療法に対する考え方とその方法について学ぶ。							
この授業の到達目標							
1. 整形外科疾患の発生機序とその症状原因の理解ができる。 2. 整形外科疾患の評価法を理解ができる。 3. 各疾患の治療法(保存療法、手術療法、理学療法)を根拠に基づいた理解ができる。							
授業スケジュール							
回数	内容				場所	担当	
1	変形性膝関節症				実習室	太田	
2	大腿骨近位部骨折				実習室	太田	
3	脊椎椎体骨折				実習室	太田	
4	関節リウマチ				実習室	太田	
5	脊椎疾患-頰椎・脊柱側弯症-				実習室	太田	
6	脊椎疾患-腰椎-				実習室	太田	
7	スポーツ外傷・障害-靭帯損傷-				実習室	太田	
8	スポーツ外傷・障害-半月板損傷-				実習室	太田	
9	スポーツ外傷・障害-野球肩-				実習室	太田	
10	スポーツ外傷・障害-テニス肘-				実習室	太田	
11	切断				実習室	太田	
12	肩関節疾患				実習室	太田	
13	絞扼性神経障害				実習室	太田	
14	慢性疼痛疾患				実習室	太田	
15	まとめ				HR教室	太田	
成績評価方法							
期末試験 60% 授業課題 30% 出席・授業態度・小テスト 10%							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社	ISBNコード		
最新 理学療法学講座 運動器理学療法学		木藤 伸宏		医歯薬出版株式会社	978-4-263-26739-4		
標準整形外科学		井樋 英二		医学書院	978-4-260-04936-8		
参考書							
書名		著者		出版社	ISBNコード		
履修上の注意点							
出席日数の足りない学生は期末試験の受験を認めないので注意してください。 オンデマンド受講を指示された際には、期限までに動画を視聴し課題を提出したのについて出席とします。							
教員よりメッセージ							
運動器疾患は、理学療法士として関わることが多い領域です。実習でも多くの学生が運動器疾患の評価・治療を行うことがあるので、予習・復習をしながら学んでいきましょう。							

授業科目	脊髄損傷治療学			講義形式	講義	科目コード	P312
担当教員	廣江 健人(理学療法士として医療機関にて実務経験あり)					科目区分	必修
開講時期	2年・前期	曜日・時限	水・4	授業回数	15回	単位数	2単位
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
脊髄損傷について、またそこから派生する合併症・随伴症状について理解し、理学療法・リハビリテーションを行う上での評価法を理解する。その上で、中途障害である脊髄損傷の運動様式、動作方法を学び、脊髄損傷についての理解を深めていく。最終的に、能力、役割に応じた日常生活での必要な環境調整を知り、リハビリテーションのイメージが定着させていく。							
この授業の到達目標							
1. 脊髄損傷の病態を理解できる。 2. 脊髄損傷の障害を理解し、評価することができる。 3. 脊髄損傷の障害に応じた理学療法、リハビリテーションを理解する。							
授業スケジュール							
回数	内容					場所	担当
1	発生機序・合併症・随伴症状					HR教室	廣江
2	発生機序・合併症・随伴症状					HR教室	廣江
3	脊髄損傷の評価(AISAを中心として)					HR教室	廣江
4	脊髄損傷の評価(Zancolliを中心として)					HR教室	廣江
5	基本動作・ADL(push up)					実習室	廣江
6	基本動作・ADL(起居動作)					実習室	廣江
7	基本動作・ADL(車いす駆動・移乗動作)					実習室	廣江
8	基本動作・ADL(キャスター上げ)					実習室	廣江
9	脊髄損傷の運動療法					実習室	廣江
10	脊髄損傷の運動療法					実習室	廣江
11	脊髄損傷のレベル別目標設定・阻害因子					HR教室	廣江
12	脊髄損傷のレベル別目標設定・阻害因子					HR教室	廣江
13	脊髄損傷者の環境設定					HR教室	廣江
14	車いすスポーツについて					HR教室	廣江
15	まとめ					HR教室	廣江
成績評価方法							
筆記試験(90%)、レポート課題など(10%) <b>実技試験で実施するキャスター上げは、所定の条件でできるようになることを必須とする。</b>							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
脊髄損傷理学療法マニュアル		岩崎洋		文光堂		978-4-8306-4581-5	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
別府重度障害者センター 理学療法マニュアル		国立障害者リハビリテーションセンター自立支援局					
動画で学ぶ脊髄損傷のリハビリテーション		田中 宏太佳 / 園田 茂		医学書院		978-4-260-00778-8	
履修上の注意点							
座学が中心の授業ですが、実技も必要に応じて実施します。出席日数の足りない学生は期末試験の受験を認めないので注意してください。オンデマンド受講を指示された際には、期限までに動画を視聴し課題を提出したものについて出席とします。							
教員よりメッセージ							
脊髄の解剖学・生理学および筋の支配神経レベルなど1年次で学習したことが基礎となります。十分に理解しておいてください。							

授業科目	小児疾患治療学			講義形式	講義	科目コード	P313
担当教員	廣江 健人(理学療法士として医療機関にて実務経験あり)					科目区分	必修
開講時期	2年・後期	曜日・時限	木・1	授業回数	15回	単位数	2単位
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
各疾患別の障害・発達についての解説から病態や動作についての理解へと結び付ける。 その上で、発達を考慮したうえでの小児疾患別の理学療法治療プログラムの立案について学習する。							
この授業の到達目標							
小児の正常発達の理解を基礎として、各種疾患に対する運動療法や病態について理解し、説明ができる。							
授業スケジュール							
回数	内容					場所	担当
1	運動発達に関する振り返り					HR教室	廣江
2	運動発達に関する振り返り					HR教室	廣江
3	発達障害児の治療のための評価(原始反射、異常発達)					HR教室	廣江
4	脳性麻痺、脳性麻痺の概略					HR教室	廣江
5	脳性麻痺(痙直型両麻痺)に対する理学療法					実習室	廣江
6	脳性麻痺(痙直型四肢麻痺)に対する理学療法					実習室	廣江
7	脳性麻痺(痙直型片麻痺)に対する理学療法					実習室	廣江
8	アトーゼ型脳性麻痺に対する理学療法					実習室	廣江
9	進行性筋ジストロフィー症の病態、理学療法					HR教室	廣江
10	小児整形疾患の病態、理学療法					HR教室	廣江
11	小児整形疾患の病態、理学療法					HR教室	廣江
12	重度(重症)心身障害児の理学療法					HR教室	廣江
13	低出生体重児・ハイリスク児の理学療法					HR教室	廣江
14	低出生体重児・ハイリスク児の理学療法					HR教室	廣江
15	発達障害					HR教室	廣江
成績評価方法							
筆記試験、レポート・課題を総合して評価する。 (期末に実施する実技・筆記試験が90%)							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
イラストでわかる 小児理学療法		上杉雅之		医歯薬出版		978-4-263-21425-1	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
イラストでわかる 人間発達学		上杉雅之		医歯薬出版		978-4-263-21945-4	
小児理学療法学テキスト		細田多穂(監)		南江堂		978-4-524-25533-7	
履修上の注意点							
出席日数の足りない学生は期末試験の受験を認めないので注意してください。オンデマンド受講を指示された際には、期限までに動画を視聴し課題を提出したものについて出席とします。							
教員よりメッセージ							
人間発達学の知識も必要となります。合わせて学習していただければと思います。 小児疾患は、イメージつきにくいものもあると思います。脳性麻痺を中心として、各病態イメージ・理学療法が理解できるようにしましょう。							

授業科目	内部障害系治療学			講義形式	講義	科目コード	P314
担当教員	廣江 健人(理学療法士として医療機関にて実務経験あり)					科目区分	必修
開講時期	3年・前期	曜日・時限	水・2	授業回数	15回	単位数	4単位(通年)
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
呼吸・循環器疾患および代謝疾患に対する理学療法の理論と実際について教授する。 また、がんのリハビリテーションについての考え方についても触れていく。実技に関しては、運動負荷試験の計画・実施などを含め、内部障害に対する評価・運動療法・手技の習得を目指す。							
この授業の到達目標							
内部障害における主な症候・症状と、その背景にある病態について、概略を理解し、説明できる。 また、医療従事者と患者の相互関係、患者の権利の基本を説明でき、実際の理学療法に結び付けられる。							
授業スケジュール							
回数	内容					場所	担当
1	内部障害の理解					HR教室	廣江
2	運動と呼吸					HR教室	廣江
3	呼吸器疾患の一般的治療					HR教室	廣江
4	酸素化能					HR教室	廣江
5	換気能力					HR教室	廣江
6	運動耐容能、呼吸困難、栄養					HR教室	廣江
7	呼吸器疾患のADLとQOL					HR教室	廣江
8	人工呼吸療法					HR教室	廣江
9	呼吸器疾患で用いられる機器					HR教室	廣江
10	運動と循環					HR教室	廣江
11	循環器疾患の一般的治療					HR教室	廣江
12	心ポンプ機能低下、心筋虚血、不整脈					HR教室	廣江
13	運動耐容能					HR教室	廣江
14	心肺運動負荷試験					運動療法室	廣江
15	循環器疾患のADLとQOL					HR教室	廣江
成績評価方法							
筆記試験、レポート・課題を総合して評価する。 (期末に実施する筆記試験が90%)							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
内部障害理学療法テキスト		細田多穂(監)		南江堂		978-4-524-25479-8	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
動画でわかる呼吸リハビリテーション		高橋仁美・塩谷隆信 他		中山書店		978-4-521-74834-4	
履修上の注意点							
毎回、次回の範囲についてお伝えしますので、必ず授業までに範囲を読み込んだのちに参加してください。(読み込んでいる前提で講義を行います) 出席日数の足りない学生は期末試験の受験を認めないので注意してください。オンデマンド受講を指示された際には、期限までに動画を視聴し課題を提出したものであることについて出席とします。							
教員よりメッセージ							
今まで学習してきた解剖・運動・生理の知識が必須となります。 将来、運動器や脳血管等の患者様を主にされる場合であっても、避けては通れない学問です。総合的に捉えられるようになってください。							



授業科目	内部障害系治療学			講義形式	講義	科目コード	P314
担当教員	廣江 健人(理学療法士として医療機関にて実務経験あり)					科目区分	必修
開講時期	3年・後期	曜日・時限	水-1・2	授業回数	15回	単位数	4単位(通年)
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
呼吸・循環器疾患および代謝疾患に対する理学療法の理論と実際について教授する。 また、がんのリハビリテーションについての考え方についても触れていく。実技に関しては、運動負荷試験の計画・実施などを含め、内部障害に対する評価・運動療法・手技の習得を目指す。							
この授業の到達目標							
内部障害における主な症候・症状と、その背景にある病態について、概略を理解し、説明できる。 また、医療従事者と患者の相互関係、患者の権利の基本を説明でき、実際の理学療法に結び付けられる。							
授業スケジュール							
回数	内容					場所	担当
1	心筋梗塞急性期の理学療法					HR教室	廣江
2	心筋梗塞回復期・維持期の理学療法					HR教室	廣江
3	心不全の理学療法					HR教室	廣江
4	そのほかの循環器疾患					HR教室	廣江
5	動静脈末梢循環の理解と理学療法					HR教室	廣江
6	腎機能障害の理解と理学療法					HR教室	廣江
7	慢性閉塞性肺疾患の理学療法					HR教室	廣江
8	拘束性肺疾患の理学療法					HR教室	廣江
9	排痰法と気管吸引(1)					実習室	廣江
10	排痰法と気管吸引(2)					実習室	廣江
11	運動と代謝					HR教室	廣江
12	糖尿病の一般的治療					HR教室	廣江
13	糖尿病の障害理解					HR教室	廣江
14	糖尿病の理学療法					HR教室	廣江
15	がんの理学療法					HR教室	廣江
成績評価方法							
筆記試験、レポート・課題を総合して評価する。(期末に実施する筆記試験が90%)							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
内部障害理学療法テキスト		細田多穂(監)		南江堂		978-4-524-25479-8	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
動画でわかる呼吸リハビリテーション		高橋仁美・塩谷隆信 他		中山書店		978-4-521-74834-4	
履修上の注意点							
毎回、次回の範囲についてお伝えしますので、必ず授業までに範囲を読み込んだのちに参加してください。(読み込んでいる前提で講義を行います) 出席日数の足りない学生は期末試験の受験を認めないので注意してください。オンデマンド受講を指示された際には、期限までに動画を視聴し課題を提出したものについて出席とします。							
教員よりメッセージ							
今まで学習してきた解剖・運動・生理の知識が必須となります。 将来、運動器や脳血管等の患者様を主にされる場合であっても、避けては通れない学問です。総合的に捉えられるようになってください。							

授業科目	基礎物理療法学			講義形式	講義	科目コード	P317
担当教員	太田 光洋(理学療法士として医療機関にて実務経験あり)					科目区分	必修
開講時期	3年・前期	曜日・時限	金・1	授業回数	15回	単位数	2単位
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
理学療法において、運動療法とともに重要な役目をなす物理療法の理論を学ぶ。							
この授業の到達目標							
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 物理療法の種類を説明できる。</li> <li>2. 物理療法の適応について説明できる。</li> <li>3. 物理療法の禁忌について説明できる。</li> <li>4. 物理療法の実施方法について説明できる。</li> </ol>							
授業スケジュール							
回数	内容					場所	担当
1	総論(物理療法とは、痛みの生理学と病理学)					HR教室	太田
2	総論(痛みの生理学と病理学、関節可動域制限)					HR教室	太田
3	総論(温熱療法に必要な物理学と生理学)					HR教室	太田
4	ホットパック、パラフィン浴					HR教室	太田
5	水治療法					HR教室	太田
6	超短波療法・極超短波療法					HR教室	太田
7	超音波療法					HR教室	太田
8	寒冷療法					HR教室	太田
9	光線療法					HR教室	太田
10	電気をを用いた治療(電気をを用いた治療の基本)					HR教室	太田
11	電気をを用いた治療(TENS)					HR教室	太田
12	電気をを用いた治療(NMES、干渉波療法)					HR教室	太田
13	電気をを用いた治療(イオントフォーシス、バイオフィードバック療法、創傷治癒のための電気刺激療法)					HR教室	太田
14	牽引療法					HR教室	太田
15	圧迫療法・振動刺激療法					HR教室	太田
成績評価方法							
出席状況・授業態度(10%)、期末試験(90%)							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
PT・OTビジュアルテキスト エビデンスから身につける物理療法		床本康治		羊土社		978-4-7581-0221-6	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
Crosslink 理学療法学テキスト 物理療法学		吉田英樹		MEDICAL VIEW		978-4-7583-2006-1	
履修上の注意点							
出席日数の足りない学生は期末試験の受験を認めないので注意してください。オンデマンド受講を指示された際には、期限までに動画を視聴し課題を提出したものについて出席とします。							
教員よりメッセージ							
臨床の場面において運動療法と併用されることが多い物理療法ですので、適応や禁忌などを理解しましょう。							

授業科目	実践物理療法学			講義形式	実習	科目コード	P318
担当教員	太田 光洋・藤原 冬美(理学療法士として医療機関にて実務経験あり)					科目区分	必修
開講時期	3年・前期	曜日・時限	金・2	授業回数	15回	単位数	1単位
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
講義で学んだ物理療法の理論を基礎として、臨床の場で実践できる技術を習得する。							
この授業の到達目標							
物理療法の適応・禁忌を理解し、安全に物理療法機器を使用することができる。							
授業スケジュール							
回数	内容					場所	担当
1	パラフィン浴、水治療法、寒冷療法演習					実習室	太田、藤原
2	ホットパック・極超短波療法演習、グループワーク(温熱療法・寒冷療法)					実習室	太田、藤原
3	グループワーク(温熱療法・寒冷療法)					実習室	太田、藤原
4	グループワーク(温熱療法・寒冷療法)					実習室	太田、藤原
5	グループワーク(温熱療法・寒冷療法)					実習室	太田、藤原
6	牽引療法、電気刺激療法演習					実習室	太田、藤原
7	電気刺激療法・超音波療法演習					実習室	太田、藤原
8	光線療法演習、グループワーク(事例に対する物理療法)					実習室	太田、藤原
9	グループワーク(事例に対する物理療法)					実習室	太田、藤原
10	グループワーク(事例に対する物理療法)					実習室	太田、藤原
11	発表					実習室	太田、藤原
12	グループワーク(事例に対する物理療法)					実習室	太田、藤原
13	グループワーク(事例に対する物理療法)					実習室	太田、藤原
14	グループワーク(事例に対する物理療法)					実習室	太田、藤原
15	発表					実習室	太田、藤原
成績評価方法							
出席状況・授業態度(10%)、提出物(レポートを含む)・発表内容(40%)、実技試験(50%)							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
PT・OTビジュアルテキスト エビデンスから身につける物理療法		床本康治		羊土社		978-4-7581-0221-6	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
Crosslink 理学療法学テキスト 物理療法学		吉田英樹		MEDICAL VIEW		978-4-7583-2006-1	
履修上の注意点							
実習中は医療機器による事故(火傷など)のないようにしましょう。積極的に実習に参加してください。出席日数の足りない学生は期末試験の受験を認めないので注意してください。オンデマンド受講を指示された際には、期限までに動画を視聴し課題を提出したものについて出席とします。							
教員よりメッセージ							
講義で学んだ理論を実習で活かし、臨床の場面で対応できるようになりましょう。またグループワークを実施し、レポート作成や発表を実施していただきます。							

授業科目	ADL技術論			講義形式	講義・演習	科目コード	P320
担当教員	平岡一志・太田光洋(理学療法士として医療機関にて実務経験あり)				科目区分	必修	
開講時期	3年・前期	曜日・時限	火-1・2	授業回数	15回	単位数	2単位
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
この授業では日常生活動作の概念とその評価を知るとともに、基本的な日常生活活動への介入のしかたと注意点について学んでいただきます。また、対象者の特性に合わせた介入のしかたについて実技練習を通じて考え、体験していただきます。							
この授業の到達目標							
①日常生活活動の概念と評価を理解する。 ②基本的日常生活活動における介入のしかたと注意点について理解する。 ③対象者の特性に合わせた介入ができるようになる。							
授業スケジュール							
回数	内容				場所	担当	
1	イントロダクション、ADLとICF分類				HR教室	平岡・太田	
2	ADLの評価(バーセルインデックス、FIM)				HR教室	平岡・太田	
3	起居動作の評価と介入				実習室	平岡・太田	
4	移乗動作の評価と介入				実習室	平岡・太田	
5	移乗動作への介入				実習室	平岡・太田	
6	車椅子の介助				実習室	平岡・太田	
7	歩行補助具と歩行介助、階段昇降について				実習室	平岡・太田	
8	床上動作の評価と介入				実習室	平岡・太田	
9	トイレ動作の評価と介入				実習室	平岡・太田	
10	食事動作・整容動作の評価と介入				実習室	平岡・太田	
11	更衣動作の評価と介入				実習室	平岡・太田	
12	入浴動作の評価				実習室	平岡・太田	
13	臨床におけるADL指導の流れ				HR教室	平岡・太田	
14	疾患別のADL指導				HR教室	平岡・太田	
15	まとめ				HR教室	平岡・太田	
成績評価方法							
期末試験(筆記試験50%、実技試験50%)を総合して判定する。							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社	ISBNコード		
Crosslink 理学療法学テキスト日常生活活動学		臼田 滋		MEDICAL VIEW	9784758320092		
参考書							
書名		著者		出版社	ISBNコード		
履修上の注意点							
実技を行う際にはジャージまたは実習衣・実習靴で受講してください。指定された服装以外での実技参加は認めません。また、この授業は3回目以降、1・2コマ連続の授業となりますのでご了承ください。技能の熟練のために空き時間などを使って学生同士で練習を行なってください。							
教員よりメッセージ							
理学療法の現場では対象者への介入のしかただけで対象者の動きや意欲が大きく変わります。この授業は「理学療法士」としての醍醐味を学ぶ授業の一つです。技術を習得する楽しさを味わえるようしっかり練習していきましょう。							

授業科目	理学療法技術論				講義形式	講義・演習	科目コード	P321
担当教員	芳谷伸二・佐々木昭・高本晃司・崎元直樹・星賢治・廣江健人・平岡一志 (理学療法士として医療機関にて実務経験あり)						科目区分	必修
開講時期	4年・後期	曜日・時限	不定期	授業回数	15回	単位数	2単位	
授業の概要・到達目標								
この授業の概要								
この授業では、現在第一線の臨床で活躍されている各方面の理学療法士・作業療法士の先生をお招きして、皆さんが臨床に出てヒントとなるような技術や臨床家としての考え方などを学んでいきます。								
この授業の到達目標								
①理学療法士としてさまざまな現場の雰囲気や考え方について知ることができる。 ②先生方の考え方や技術を一部でも自分のものとして取り込むことができる。 ③理学療法士として働く上での心構えを作ることができる。								
授業スケジュール								
回数	内容					場所	担当	
1	オリエンテーション					HR教室	平岡	
2	中枢神経系疾患の対象者に対する理学療法技術について					HR教室	佐々木	
3	中枢神経系疾患の対象者に対する理学療法技術について					HR教室	佐々木	
4	人間の姿勢とシーティングの基本について					HR教室	高本	
5	人間の姿勢とシーティングの基本について					HR教室	高本	
6	整形外科領域における理学療法の新しい治療の考え方について					HR教室	星	
7	整形外科領域における理学療法の新しい治療の考え方について					HR教室	星	
8	運動器疾患の対象者に対する理学療法技術について					HR教室	佐々木	
9	運動器疾患の対象者に対する理学療法技術について					HR教室	佐々木	
10	対象者さんが元気になるために理学療法士にできること					HR教室	芳谷	
11	対象者さんが元気になるために理学療法士にできること					HR教室	芳谷	
12	呼吸のしくみと呼吸介助の基本について					HR教室	崎元	
13	呼吸のしくみと呼吸介助の基本について					HR教室	崎元	
14	排痰と吸引の技術について					HR教室	廣江	
15	病むことと対象者の語りについて					HR教室	平岡	
成績評価方法								
授業ごとに提出する簡単なレポート 100%								
授業用テキスト								
	書名	著者	出版社	ISBNコード				
	なし							
参考書								
	書名	著者	出版社	ISBNコード				
履修上の注意点								
日程は後日お知らせします。各授業のレポートの提出をもって、出席とみなします。出席日数が足りない場合は履修完了できませんので注意してください。								
教員よりメッセージ								
これまで学んだ知識・技術を総動員して、臨床家の先生方の知識・技術を一つでも多く身に付けてください！								

授業科目	神経筋疾患治療学			講義形式	講義	科目コード	P322
担当教員	伊藤 祥史(理学療法士として医療機関にて実務経験あり)					科目区分	必修
開講時期	3年・前期	曜日・時限	月・4	授業回数	15回	単位数	2単位
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
神経筋疾患の基礎知識を学び、理学療法を実施できるよう理解を深めていく。							
この授業の到達目標							
中枢神経系の構造と機能について理解を深める。 脳卒中の疾患概念とそれに伴う障害の構造を理解する。 脳卒中片麻痺および失調の評価と治療について理解する。							
授業スケジュール							
回数	内容				場所	担当	
1	Parkinson病の理学療法 1				HR教室	伊藤	
2	Parkinson病の理学療法 2				HR教室	伊藤	
3	Parkinson病の理学療法 3				HR教室	伊藤	
4	脊髄小脳変性症の理学療法 1				HR教室	伊藤	
5	脊髄小脳変性症の理学療法 2				HR教室	伊藤	
6	筋萎縮性側索硬化症の理学療法 1				HR教室	伊藤	
7	筋萎縮性側索硬化症の理学療法 2				HR教室	伊藤	
8	多発性硬化症の理学療法 1				HR教室	伊藤	
9	多発性硬化症の理学療法 2				HR教室	伊藤	
10	Guillain-Barré症候群の理学療法				HR教室	伊藤	
11	クリニカルリーズニングとは				HR教室	伊藤	
12	急性期脳卒中片麻痺				HR教室	伊藤	
13	回復期脳卒中片麻痺				HR教室	伊藤	
14	半側空間無視を伴う脳卒中片麻痺				HR教室	伊藤	
15	Parkinson病				HR教室	伊藤	
成績評価方法							
各期の小テスト、期末試験とレポートなどを総合的に評価する。 【配分】小テスト20% 提出物30% 期末試験50% ⇒変更する可能性がありますので、今後の連絡に注意してください。							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社	ISBNコード		
標準理学療法学 神経理学療法学		吉尾雅春ほか編		医学書院	978-4-260-03621-4		
参考書							
書名		著者		出版社	ISBNコード		
病気がみえるvol.7		医療情報科学研究所編		メディックメディア	978-4-89632-686-4		
履修上の注意点							
毎回重要なキーワードを提示して授業を行います。授業後はそのキーワードについて重点的に復習しましょう。翌週の小テストで振り返りをおこないます。							
教員よりメッセージ							
理学療法士が治療対象とする患者さんの多くは中枢神経疾患の患者さんでもあります。用語や考え方は難しいところもありますが、復習をしっかりと行い、理解を深めましょう。							

授業科目	スポーツ・健康増進理学療法			講義形式	講義	科目コード	P323
担当教員	吉川 李奈(理学療法士として医療機関にて実務経験あり)					科目区分	必修
開講時期	3年・前期	曜日・時限	火・4	授業回数	15回	単位数	2単位
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
スポーツ動作の評価・治療・トレーニングまでの流れを理解・体験する。また、レクリエーションレベルの運動や主に高齢者に対する健康増進・介護予防についても触れていく。							
この授業の到達目標							
1.スポーツ障害に対する基本的知識の習得							
授業スケジュール							
回数	内容					場所	担当
1	スポーツ障害とリハビリテーション					HR教室	吉川
2	アスレチックリハビリテーションの科学的基礎、基本プログラム					HR教室	吉川
3	スポーツ障害とリハビリテーション					HR教室	吉川
4	アスレチックリハビリテーションの科学的基礎、基本プログラム					HR教室	吉川
5	Joint by Joint理論①					HR教室	吉川
6	Joint by Joint理論②					HR教室	吉川
7	疾患各論(実技を含む)					HR教室	吉川
8	疾患各論(実技を含む)					HR教室	吉川
9	疾患各論(実技を含む)					HR教室	吉川
10	各種トレーニング①					実習室	吉川
11	各種トレーニング②					実習室	吉川
12	キネシオテーピング①					実習室	吉川
13	キネシオテーピング②					実習室	吉川
14	ファンクショナルテーピング①					実習室	吉川
15	ファンクショナルテーピング②					実習室	吉川
成績評価方法							
期末試験 100%							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
スポーツ障害のリハビリテーション		山下 敏彦		金原出版株式会社		978-4-307-75050-9	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
履修上の注意点							
出席日数の足りない学生は期末試験の受験を認めないので注意してください。 オンデマンド受講を指示された際には、期限まで動画を視聴し課題を提出したのについて出席とします。 実習室で行う講義に関しては、動きやすい服装で参加してください。 テーピングを各自で購入していただきます。							
教員よりメッセージ							
原因を理解・追求するにあたり、解剖学や運動学を復習しておいてください。							

授業科目	老年期理学療法			講義形式	講義	科目コード	P325
担当教員	藤原 冬美(理学療法士として医療機関にて実務経験あり)					科目区分	必修
開講時期	3年・前期	曜日・時限	金・3	授業回数	15回	単位数	2単位
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
生理的老化と病的老化の違いを理解し、加齢に伴う変化を学習する。また、近年の超高齢社会をとりまく医療・介護・福祉という環境を考慮しつつ、高齢者特有の症候や疾患の知識を習得し、高齢者への理学療法を理解する。							
この授業の到達目標							
1、高齢者の特徴を理解することができる。 2、高齢者に対する機能評価を理解することができる。 3、高齢者に対する理学療法を安全に実施することができる。							
授業スケジュール							
回数	内容					場所	担当
1	高齢者の特徴(高齢者の基礎的理解、老年症候群、フレイルとサルコペニア)					HR教室	藤原
2	高齢者の特徴(認知症、転倒)					HR教室	藤原
3	高齢者の特徴(低栄養、尿失禁、摂食嚥下障害)					HR教室	藤原
4	加齢に伴う心身機能の変化(生理機能の変化、体力の変化)					HR教室	藤原
5	加齢に伴う心身機能の変化(姿勢および歩行機能の変化、精神・心理機能および認知機能の変化)					HR教室	藤原
6	高齢者の機能評価(身体機能評価)					HR教室	藤原
7	高齢者の機能評価(生活活動能力評価)					HR教室	藤原
8	高齢者の機能評価(認知機能、精神・心理機能評価、QOL、社会活動の評価)					HR教室	藤原
9	高齢者に対する理学療法(筋力トレーニング、バランストレーニング)					HR教室	藤原
10	高齢者に対する理学療法(持久力・歩行トレーニング、身体活動促進に対するアプローチ)					HR教室	藤原
11	高齢者に対する理学療法(転倒・骨折予防)					HR教室	藤原
12	高齢者に対する理学療法(認知症予防)					HR教室	藤原
13	ロコモティブシンドローム					HR教室	藤原
14	介護保険制度					HR教室	藤原
15	まとめ					HR教室	藤原
成績評価方法							
出席状況・授業態度(10%)、期末試験(90%)							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
Crosslink 理学療法学テキスト 高齢者理学療法学		池添冬芽		MEDICAL VIEW		978-4-7583-2008-5	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
シンプル理学療法学シリーズ 高齢者理学療法学テキスト		監修:細田多穂		南江堂		978-4-524-25783-6	
高齢者理学療法学		島田裕之		医歯薬出版株式会社		978-4-263-21743-6	
履修上の注意点							
出席日数の足りない学生は期末試験の受験を認めないので注意してください。オンデマンド受講を指示された際には、期限までに動画を視聴し課題を提出したのについて出席とします。							
教員よりメッセージ							
1年次に学んだ生理学や、2年次に学んだ様々な疾患について理解したうえで、授業に臨んでください。各単元でのまとめを活用しながら復習を行ってください。							



授業科目	地域理学療法学			講義形式	講義	科目コード	P327
担当教員	岩田 隆士(理学療法士として医療機関にて実務経験あり)					科目区分	必修
開講時期	3年・前期	曜日・時限	水・1	授業回数	15回	単位数	2単位
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
アクティブラーニングにて授業を進める。主として医療機関退院後、あるいは障害を有しながら地域で生活する人々の生活障害や生活障害に対する理学療法介入の実際について学習する。それと同時に健康づくりや予防的視点からの理学療法介入についても学習を行う。							
この授業の到達目標							
人々の生活上の様々な障害や生活状況をICF概念に基づき、多面的に把握し、生活機能を高めるための理学療法士の取り組みをイメージ出来るようになる事や、退院後の生活や慣れ親しんだ環境での生活を支援するという視点を持つようになることを目標とする。							
授業スケジュール							
回数	内容					場所	担当
1	オリエンテーション・地域リハビリテーションの概念・他職種への理解					HR教室	岩田
2	地域理学療法の視点(ライフステージICFを中心に)					HR教室	岩田
3	地域理学療法と社会情勢(地域包括ケアシステムを中心に)					HR教室	岩田
4	地域理学療法と制度(介護保険サービスを中心に)					HR教室	岩田
5	地域理学療法の対象と支援方法(地域ケア会議も含む)					HR教室	岩田
6	理学療法的支援 起居動作・良肢位・移乗・移動動作					HR教室	岩田
7	理学療法的支援 排泄					HR教室	岩田
8	理学療法的支援 食事・社会参加					HR教室	岩田
9	理学療法的支援 フレイル、ロコモ、サルコペニア					HR教室	岩田
10	理学療法的支援 認知症					HR教室	岩田
11	理学療法的支援 環境側面					HR教室	岩田
12	地域の仕組み・CBR(理学療法士の関わり方)					HR教室	岩田
13	模擬症例提示:地域で生き生きと生活するためには(利用資源の検討)					HR教室	岩田
14	模擬症例提示:地域で生き生きと生活するためには(携わる職種)					HR教室	岩田
15	まとめ					HR教室	岩田
成績評価方法							
期末試験 70% 提出物 20% 授業への参加 10%							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
理学療法テキスト 地域理学療法学		平田 直		中山書店		978-4-521-74814-6	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
履修上の注意点							
出席日数の足りない学生は期末試験の受験を認めないので注意してください。また、オンデマンド受講を指示された際には、期限までに動画を視聴し課題を提出したのについて出席とします。							
教員よりメッセージ							
将来理学療法士として働いた時には、急性期病院・回復期病院・クリニック・小児・福祉・スポーツ領域など、働く領域関係なく、必ず知っておかなくてはならない基礎知識となります。授業後の復習をおこたらず、しっかり理解してください。わからないことは、すぐ聞いてください。							

授業科目	生活環境学			講義形式	講義	科目コード	P328
担当教員	岩田 隆士(理学療法士として医療機関にて実務経験あり)					科目区分	必修
開講時期	3年・後期	曜日・時限	火-3・4	授業回数	15回	単位数	2単位
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
生活支援に関する諸制度、障害別における生活環境の留意点関節可動域と日常生活活動の関係、バリアフリーの関連諸制度、住環境、福祉用具など、実践に基づいた内容で講義していく。理学療法士が患者様の生活を支援するためには幅広い視野が必要なことを伝えていく。							
この授業の到達目標							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活環境を整備する大切さ・必要性を理解する</li> <li>・生活環境を整備するための関連諸制度について理解する</li> <li>・福祉用具の種類や機能・法律面や制度面について理解する</li> </ul>							
授業スケジュール							
回数	内容					場所	担当
1	オリエンテーション、生活環境とは・ICFとICIDH、生活に影響を及ぼす環境因子					HR教室	岩田
2	生活環境に目を向ける～環境におけるKYTと疾患におけるKYT～					HR教室	岩田
3	環境に合わせた車椅子のシーティング					HR教室	岩田
4	車椅子の回転直径、直角回転、通行幅					HR教室	岩田
5	ハートビル法・交通バリアフリー・ユニバーサルデザイン					HR教室	岩田
6	社会保障制度(：福祉用具および住宅整備)					HR教室	岩田
7	片麻痺・高齢者体験キット：校内で困った事・改善すべき事の発見					HR教室	岩田
8	車椅子を使用して校内・学外で困った事・改善すべき事の発見					HR教室	岩田
9	福祉用具の活用(5W2H)、福祉用具の種類					HR教室	岩田
10	住環境整備のポイント(ADLの面を中心に)					HR教室	岩田
11	住環境整備のポイント(建具、照明などの屋内環境を中心に)					HR教室	岩田
12	住環境整備のポイント(疾患別にみる住環境を中心に)					HR教室	岩田
13	実際に行われた住環境整備の事例①					HR教室	岩田
14	実際に行われた住環境整備の事例②					HR教室	岩田
15	まとめ					HR教室	岩田
成績評価方法							
期末試験 70% 提出物 20% 授業への参加 10%							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
理学療法テキスト 地域理学療法学		平田 直		中山書店		978-4-521-74814-6	
日常生活活動		臼田 滋		メジカルビュー社		978-4-7583-2009-2	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
履修上の注意点							
出席日数の足りない学生は期末試験の受験を認めないので注意してください。また、オンデマンド受講を指示された際には、期限までに動画を視聴し課題を提出したものについて出席とします。							
教員よりメッセージ							
皆さまは氷の上で上手に歩けるでしょうか。高所の狭い足場で平地と同様に歩けるでしょうか。少なからず歩幅が小さくなったりするのではないのでしょうか。このように身体活動は環境との相互作用と言っても過言ではありません。住環境を整備する事により「今まで出来なかった事」が出来るようになったり、その逆も起こり得ます。しっかりと学び、患者様や利用様の身体能力や運動能力を最大限発揮できるような住環境の整備が出来る事が理想です。							

授業科目	臨床実習教育 I			講義形式	講義・演習	科目コード	P331
担当教員	岩田隆士・太田光洋・平岡 一志・清水池 冬美(理学療法士として医療機関にて実務経験あり)					科目区分	必修
開講時期	2年・前期	曜日・時限	火・3	授業回数	15回	単位数	2単位
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
臨床実習の目的を理解し、患者様に必要とされる理学療法士になるために、社会人として基本的なマナー、医療従事者としての職業倫理を学ぶ。							
この授業の到達目標							
実習生としてふさわしい身だしなみやふるまいを身につけることができる。							
授業スケジュール							
回数	内容				場所	担当	
1	理学療法士として求められるもの				HR教室	岩田・清水池	
2	自分の生活と態度を知る				HR教室	岩田・清水池	
3	挨拶について				HR教室	岩田・清水池	
4	電話対応のしかた、手紙の書き方				HR教室	岩田・清水池	
5	身だしなみについて				HR教室	岩田・清水池	
6	患者・職員との応接のしかた				HR教室	岩田・清水池	
7	応接の演習				HR教室	岩田・清水池	
8	接遇等(挨拶・電話対応・身だしなみ・応接)のまとめ				HR教室	岩田・清水池	
9	実習時の記録のとり方とレポートの書き方				HR教室	岩田・清水池	
10	自己の健康管理のあり方				HR教室	岩田・清水池	
11	医療事故対策と感染症対策				HR教室	太田	
12	医療専門職としての職業倫理について				HR教室	平岡	
13	臨床見学実習に向けて①				HR教室	岩田・清水池	
14	臨床見学実習に向けて②				HR教室	岩田・清水池	
15	まとめ				HR教室	岩田・清水池	
成績評価方法							
授業態度(身だしなみを含む)30% 期末試験 70%							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
基礎固めヒント式トレーニングPT・OT 基礎医学編		小立鉦彦		南江堂		978-4-524-23738-8	
履修上の注意点							
出席日数の足りない学生は期末試験の受験を認めないので注意して下さい。オンデマンド受講を指示された際には、期限まで動画を視聴し課題を提出したのについて出席とします。この講座は学外で登校の学生として学ぶための準備として受講して下さい。特に普段からの身だしなみや対応のしかたなどは厳しく評価していきます。							
教員よりメッセージ							
臨床実習では社会人としての振るまいが求められます。学生であっても社会人としての自覚が必要です。授業を通して、臨床実習に備えてください。							

授業科目	臨床実習教育Ⅱ			講義形式	講義・演習	科目コード	P332
担当教員	廣江 健人・榎 重治					科目区分	必修
開講時期	3年・前期	曜日・時限	月-1・2	授業回数	15回	単位数	2単位
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
臨床実習の目的を理解し、患者様に必要とされる理学療法士になるために、社会人として基本的なマナー、医療従事者としての職業倫理を学ぶ。							
この授業の到達目標							
臨床基礎実習および総合臨床実習の目的と意義を理解する。 事例検討を通じて、一連の理学療法過程を学ぶ。 実習生としてふさわしい身だしなみや対応を身につけることができる。							
授業スケジュール							
回数	内容					場所	担当
1	オリエンテーション					HR教室	廣江・榎
2	デイリーノート、ケースノート、ポートフォリオの書き方					HR教室	廣江・榎
3	臨床推論 統合と解釈 症例レポートの書き方1					HR教室	廣江・榎
4	臨床推論 統合と解釈 症例レポートの書き方2					HR教室	廣江・榎
5	OSCE 医療面接 バイタル					HR教室	廣江・榎
6	OSCE 形態測定					HR教室	廣江・榎
7	OSCE ROM MMT					HR教室	廣江・榎
8	OSCE 反射検査					HR教室	廣江・榎
9	OSCE 感覚検査					HR教室	廣江・榎
10	OSCE バランス検査					HR教室	廣江・榎
11	OSCE 片麻痺機能検査					HR教室	廣江・榎
12	臨床実習手引きの説明					HR教室	廣江・榎
13	実習時のリスクマネジメントについて、倫理的配慮について					HR教室	廣江・榎
14	臨床実習指導者会議について					HR教室	廣江・榎
15	実習書類の作成、各届出の説明					HR教室	廣江・榎
成績評価方法							
基礎学力試験(40%)、実技(OSCE)試験(40%)、出席・態度・Monoxer(20%) ただし、 <b>基礎学力試験・OSCEともに合格していない場合は基礎実習に進めない。</b>							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
症例動画でわかる 理学療法臨床推論		豊田輝		羊土社		978-4-7581-0255-1	
配布資料							
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
これで解決！PT・OT・ST臨床実習まるごとガイド		遠藤敏・他 監修		金芳堂		978-4-7653-1710-8	
履修上の注意点							
<b>OSCE、基礎学力試験に向けて、授業時間外の学習を求めます。</b> また、出席日数の足りない学生は期末試験の受験を認めないので注意して下さい。 オンデマンド受講を指示された際には、期限まで動画を視聴し課題を提出したのについて出席とします。 臨床基礎実習の準備として実施します。特に普段からの身だしなみや対応のしかたなどは厳しく評価していきます。							
教員よりメッセージ							
この授業を通して、理学療法士としての知識・技術とともに、社会人としての立ち居振る舞いを身につけて臨床実習に臨みましょう。							

授業科目	姿勢と動作			講義形式	講義・演習	科目コード	P341
担当教員	岩田隆士・平岡一志(理学療法士として医療機関にて実務経験あり)					科目区分	必修
開講時期	2年・後期	曜日・時限	火・2	授業回数	15回	単位数	2単位
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
この授業では、姿勢や動作の観察および分析を行う為に必要な知識を学んでいただきます。また、グループワークを通じ、人の「動き」について理解を深め、講義で得た知識を活用し、「人の動き」を言語化する練習を行っていきます。							
この授業の到達目標							
姿勢や動作の観察および分析を行う為に必要なキーワードを理解する。 姿勢や動作を文字で表現する事が出来るようになる。							
授業スケジュール							
回数	内容					場所	担当
1	オリエンテーション・姿勢の診かた・観察と分析の違い					HR教室	平岡・岩田
2	寝返りの動作分析 ～言語化してみよう～					HR教室	平岡・岩田
3	起き上がりの動作分析 ～言語化してみよう～					HR教室	平岡・岩田
4	起立・着座の動作分析 ～言語化してみよう～					HR教室	平岡・岩田
5	歩行観察 ～歩行周期の理解と動作の表現について～					HR教室	平岡・岩田
6	歩行動作の分析 ～言語化してみよう～					HR教室	平岡・岩田
7	歩行の動作分析 ～逸脱動作の発見練習～					HR教室	平岡・岩田
8	寝返り・起き上がり・起立・歩行のまとめ					HR教室	平岡・岩田
9	起居動作への介入の基本1(寝返り)					HR教室	平岡・岩田
10	起居動作への介入の基本2(寝返り)					HR教室	平岡・岩田
11	起居動作への介入の基本3(起き上がり)					HR教室	平岡・岩田
12	起居動作への介入の基本4(起き上がり)					HR教室	平岡・岩田
13	立ち上がりへの介入の基本1					HR教室	平岡・岩田
14	立ち上がりへの介入の基本2					HR教室	平岡・岩田
15	歩行への介入					HR教室	平岡・岩田
成績評価方法							
期末試験 100%(筆記試験50% 実技試験50%)							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
プリント配布							
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
人間の運動学		宮本 省三		協同医書出版		978-4-7639-0039-5	
履修上の注意点							
出席日数の足りない学生は期末試験の受験を認めないので注意してください。また、オンデマンド受講を指示された際には、期限までに動画を視聴し課題を提出したものについて出席とします。出席日数が足りない場合は成績判定が出来ませんのでご注意ください。							
教員よりメッセージ							
【岩田】姿勢・動作観察および分析は患者様の動作障害の原因を分析し、治療戦略を立案する一連の臨床意思決定を行うためのプロセスの一部であり、理学療法の根幹と行っても過言ではありません。前半の授業では、このプロセスを理解するため土台作りを行っていきます。授業で分からない事があれば、すぐに聞いてください。 【平岡】理学療法士にとって起居・起立・移動への介入は最低限身に付けてほしい技術です。また、介入を通じて動作を分析したり、治療方略を立案する一助になってきます。後半の授業では前半で得た知見を元に基本動作の介入のしかたの基礎を学んでいきます。							

授業科目	理学療法管理学			講義形式	講義	科目コード	P342
担当教員	平岡一志・榎重治・廣江健人・藤原冬美・岩田隆士・太田光洋・吉川李奈・甲田宗嗣 (理学療法士として医療機関にて実務経験あり)					科目区分	必修
開講時期	4年・後期	曜日・時限	不定期	授業回数	15回	単位数	2単位
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
この授業では理学療法士に必要な管理の知識について勉強していきます。さらに、理学療法士としての職業倫理・理学療法士をとりまく制度や政治への関与についても学び、受講生のみなさんが新社会人としてどのように立ち振る舞うべきなのかを考えていきたいと思います。							
この授業の到達目標							
①理学療法士をとりまく各制度や理学療法士が所属する組織について理解できる。 ②理学療法サービスを安全に効率的に提供するための管理について理解できる。 ③理学療法士として社会に出ていくにあたり、社会人としての心構えを考えることができる。							
授業スケジュール							
回数	内容				場所	担当	
1	オリエンテーション・理学療法管理学とは				HR教室	平岡	
2	病院の分類とその組織について				HR教室	藤原	
3	医療保険制度と介護保険制度について				HR教室	岩田	
4	診療・介護報酬と収益構造について				HR教室	岩田	
5	保健・医療・介護・福祉の連携について1				HR教室	吉川	
6	保健・医療・介護・福祉の連携について2				HR教室	吉川	
7	業務管理について				HR教室	榎	
8	情報管理について				HR教室	榎	
9	リスク管理について				HR教室	太田	
10	感染症管理について				HR教室	太田	
11	教育管理について1				HR教室	廣江	
12	教育管理について2				HR教室	廣江	
13	理学療法士の職能と理学療法士協会について				HR教室	甲田	
14	権利擁護と職業倫理について				HR教室	藤原	
15	理学療法士の政治・政策への関与について				HR教室	平岡	
成績評価方法							
毎授業末の確認テスト 100% (各確認テストの平均が60点以上で合格) ⇒ 不合格者への再試験は行わない							
授業用テキスト							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
理学療法テキスト 理学療法管理学		長野 聖		中山書店		978-4-521-74813-9	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
履修上の注意点							
確認テストは毎授業末に行います。欠席した場合にはその回のテストは0点になりますので、あらかじめご了承ください。							
教員よりメッセージ							
当校での学びはこの授業をもって最後となります。新社会人となるみなさんが、対象者さんにとって好ましい理学療法士として巣立っていけるよう、最後にみんなで学んでいきましょう。							

授業科目	義肢・装具学			講義形式	講義	科目コード	P343
担当教員	榎 重治(理学療法士として医療機関にて実務経験あり)					科目区分	必修
開講時期	3年・前期	曜日・時限	月・3	授業回数	15回	単位数	2単位
授業の概要・到達目標							
この授業の概要							
義手・義足と体幹、上肢、下肢装具(靴型装具を含む)や歩行補助具・車いすなどによる疾患別・症状別に適応される義肢装具療法に必要な基礎的知識を学ぶ。							
この授業の到達目標							
1. 義肢・装具の目的と対象について理解できる。 2. 義肢・装具の種類と構成部品とそのチェックアウトについて理解できる。							
授業スケジュール							
回数	内容					場所	担当
1	装具学総論					HR教室	榎
2	下肢装具の構成部品とそのチェックアウト					HR教室	榎
3	靴型装具					HR教室	榎
4	疾患別の装具療法 ①下肢					HR教室	榎
5	疾患別の装具療法 ②体幹					HR教室	榎
6	疾患別の装具療法 ③上肢					HR教室	榎
7	短下肢装具における歩行分析					HR教室	榎
8	義肢学総論					HR教室	榎
9	下肢切断の理学療法評価					HR教室	榎
10	股義足・大腿義足の種類と適合評価					HR教室	榎
11	股義足・大腿義足のアライメント					HR教室	榎
12	下腿義足の種類と適合評価					HR教室	榎
13	下腿義足のアライメント					HR教室	榎
14	下肢切断の理学療法					HR教室	榎
15	まとめ					HR教室	榎
成績評価方法							
期末試験 40% 中間試験 40% 出席 20%							
授業用テキスト							
PT・OTビジュアルテキスト 義肢・装具学 第2版			高田治実 編		羊土社	978-4-7581-0263-6	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
履修上の注意点							
出席日数の足りない学生は期末試験の受験を認めないので注意してください。 オンデマンド受講を指示された際には、期限までに動画を視聴し課題を提出したのについて出席とします。							
教員よりメッセージ							
疾患別・症状別に適応される各義肢・装具の特徴を捉え、その種類と適合判定を理解しましょう。							